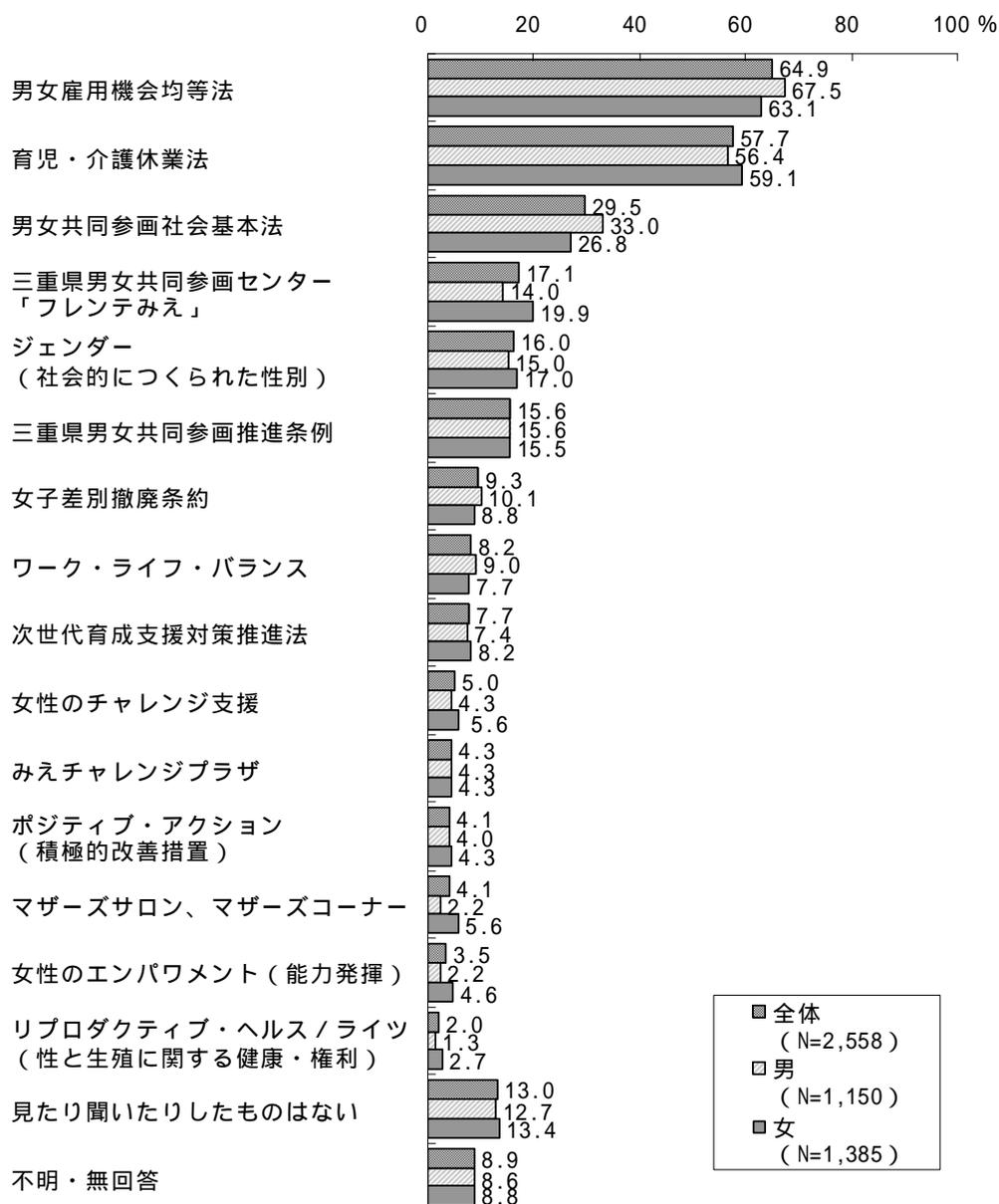


8 男女共同参画社会について

(1) 見たり聞いたりしたことがある言葉について

問 34 . 次にあげる言葉の中で、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものを次の中からいくつかでも選んで 印をつけてください。

問 34 見たり聞いたりしたことがある言葉について 【全体 / 性別】



全体では、「男女雇用機会均等法」が64.9%と最も高くなっています。

性別でみると、「男女共同参画社会基本法」と答えた人の割合は、男性(33.0%)が女性(26.8%)を上回っています。また、「三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」と答えた人の割合は、女性(19.9%)が男性(14.0%)を上回っています。

問 34 見たり聞いたりしたことがある言葉について 【性別・年代別・地域別】

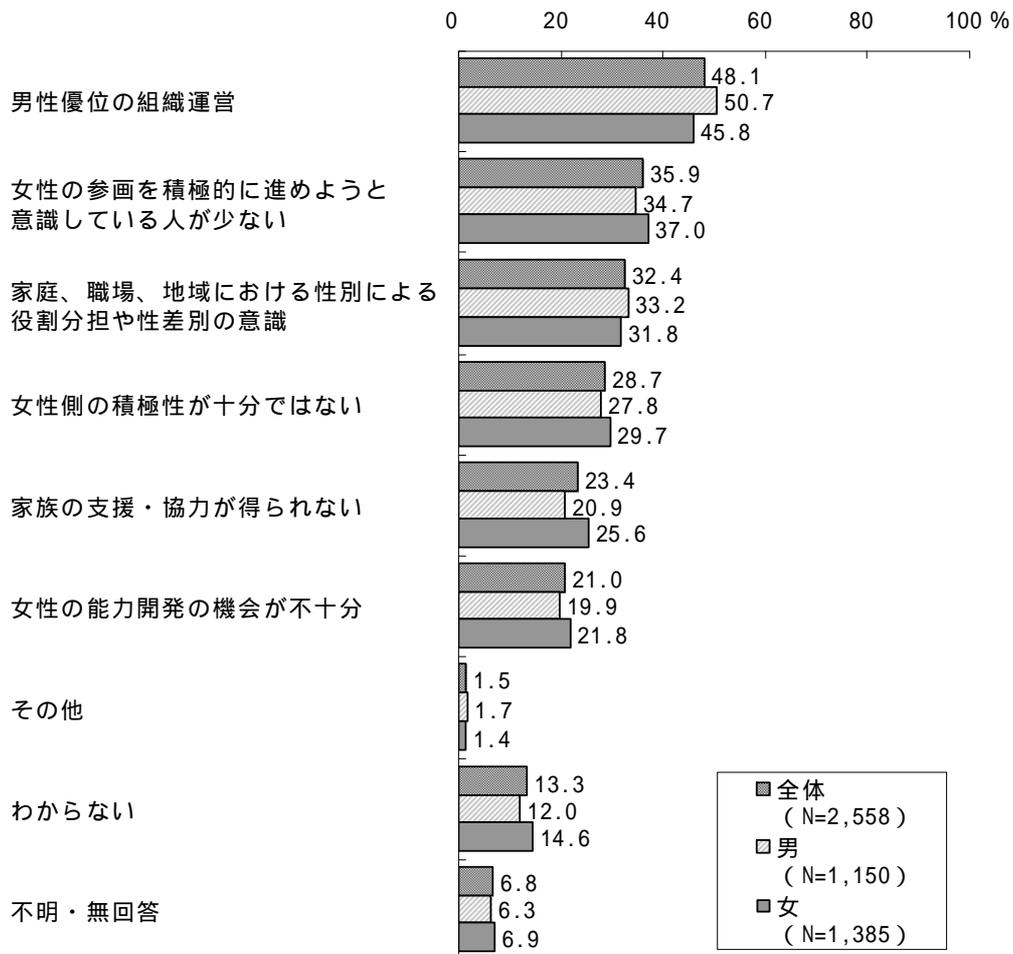
単位：N数（人） 選択肢の数値（%）

	全体（N数）	男女共同参画社会基本法	三重県男女共同参画推進条例	女子差別撤廃条約	ポジティブ・アクション（積極的改善措置）	関係する健康・権利	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康・権利）	ジェンダー（社会的につくられた性別）	女性のチャレンジ支援	みえチャレンジプラザ	マザーズサロン、マザーズコーナー	女性のエンパワメント（能力発揮）	男女雇用機会均等法	育児・介護休業法	次世代育成支援対策推進法	ワーク・ライフ・バランス	三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」	見たり聞いたりしたものはない	不明・無回答
全体	2,558	29.5	15.6	9.3	4.1	2.0	16.0	5.0	4.3	4.1	3.5	64.9	57.7	7.7	8.2	17.1	13.0	8.9	
男性	1,150	33.0	15.6	10.1	4.0	1.3	15.0	4.3	4.3	2.2	2.2	67.5	56.4	7.4	9.0	14.0	12.7	8.6	
女性	1,385	26.8	15.5	8.8	4.3	2.7	17.0	5.6	4.3	5.6	4.6	63.1	59.1	8.2	7.7	19.9	13.4	8.8	
男性 / 20歳代	101	38.6	16.8	21.8	9.9	5.9	34.7	2.0	7.9	5.9	2.0	63.4	50.5	10.9	18.8	8.9	18.8	3.0	
30歳代	151	25.8	9.9	7.3	6.6	1.3	17.9	2.0	5.3	5.3	2.0	62.9	51.7	9.3	9.3	12.6	19.2	4.0	
40歳代	196	27.0	13.8	6.1	3.6	0.5	17.3	4.6	7.1	1.5	0.5	71.4	63.8	6.6	12.8	16.3	12.2	5.6	
50歳代	197	39.6	21.8	13.7	4.6	0.5	22.8	6.6	5.6	3.0	3.0	82.2	71.6	12.7	11.2	19.8	5.6	3.6	
60歳代	269	37.5	13.8	7.8	2.2	0.7	6.7	3.3	1.9	-	2.6	72.1	58.4	3.3	3.3	12.3	11.9	6.7	
70歳以上	221	29.9	17.2	10.4	1.8	1.4	5.0	5.9	1.8	0.9	2.3	52.0	40.7	5.4	5.4	11.3	12.2	23.5	
女性 / 20歳代	162	30.9	8.6	22.2	6.8	6.2	34.6	3.7	4.3	6.8	5.6	74.7	64.8	9.3	12.3	17.3	8.6	3.1	
30歳代	180	25.0	12.8	7.2	5.0	1.7	25.6	3.3	8.3	16.7	6.7	68.9	62.8	11.7	10.6	28.9	13.9	2.2	
40歳代	227	26.9	14.5	4.4	7.9	3.1	21.6	7.5	2.6	5.3	7.5	72.7	67.0	7.9	10.1	23.8	9.7	3.5	
50歳代	271	29.9	19.2	10.3	4.4	3.7	20.3	6.6	5.9	5.2	5.9	69.4	69.4	9.2	7.4	22.9	11.4	4.4	
60歳代	297	29.6	20.2	7.1	1.3	1.0	6.7	4.4	3.0	2.7	1.0	59.3	57.2	8.4	4.7	15.5	12.8	10.8	
70歳以上	216	16.7	13.0	5.1	1.4	0.9	2.8	6.9	3.2	1.4	2.3	38.0	35.2	2.8	5.1	12.0	22.7	26.9	
桑名地域	286	30.1	14.0	11.2	4.9	1.4	17.1	3.8	4.9	5.6	1.7	65.4	59.1	6.6	10.8	8.7	13.3	7.0	
四日市地域	493	29.8	11.8	7.1	4.1	2.2	20.9	6.9	5.7	7.1	4.9	67.5	56.8	9.3	9.9	15.0	13.8	7.5	
鈴鹿地域	336	24.4	13.7	7.1	3.3	1.8	13.4	3.3	3.3	3.9	3.3	63.4	54.2	6.3	7.1	15.8	14.0	10.4	
伊賀地域	245	36.3	19.6	9.8	4.1	1.2	14.3	2.9	3.7	2.4	4.9	67.3	59.6	6.5	10.2	17.1	13.5	9.4	
津地域	404	32.2	19.1	10.9	4.0	3.5	17.1	4.2	3.2	3.7	4.0	70.3	59.9	7.4	9.4	30.9	10.1	8.4	
松阪地域	299	23.7	16.1	12.0	5.4	2.0	13.4	5.4	5.4	2.3	2.3	59.5	58.2	7.7	5.7	16.1	14.0	10.4	
伊勢地域	345	34.5	17.4	9.6	3.2	1.4	15.4	7.0	4.6	2.6	3.2	64.6	58.0	10.1	5.5	15.4	13.0	8.4	
尾鷲地域	56	19.6	19.6	10.7	10.7	3.6	10.7	5.4	5.4	3.6	1.8	51.8	50.0	7.1	10.7	16.1	10.7	12.5	
熊野地域	56	19.6	8.9	5.4	1.8	1.8	10.7	5.4	-	1.8	1.8	51.8	60.7	3.6	3.6	10.7	14.3	10.7	

(2) 女性の参画が少ない理由について

問 35 . あなたは、政治や行政において、政策の企画や方針決定の過程に女性の参画が少ない理由は何だと思えますか。次の中からいくつでも選んで 印をつけてください。

問 35 女性の参画が少ない理由について 【全体 / 性別】



全体では、「男性優位の組織運営」と答えた人の割合が 48.1%と最も高く、次いで「女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない」が 35.9%と続いています。

性別で見ると、「男性優位の組織運営」、「家庭、職場、地域における性別による役割分担や性差別の意識」と答えた人の割合は、男性が女性を上回っています。

問 35 女性の参画が少ない理由について 【性別・年代別・就労状況別】

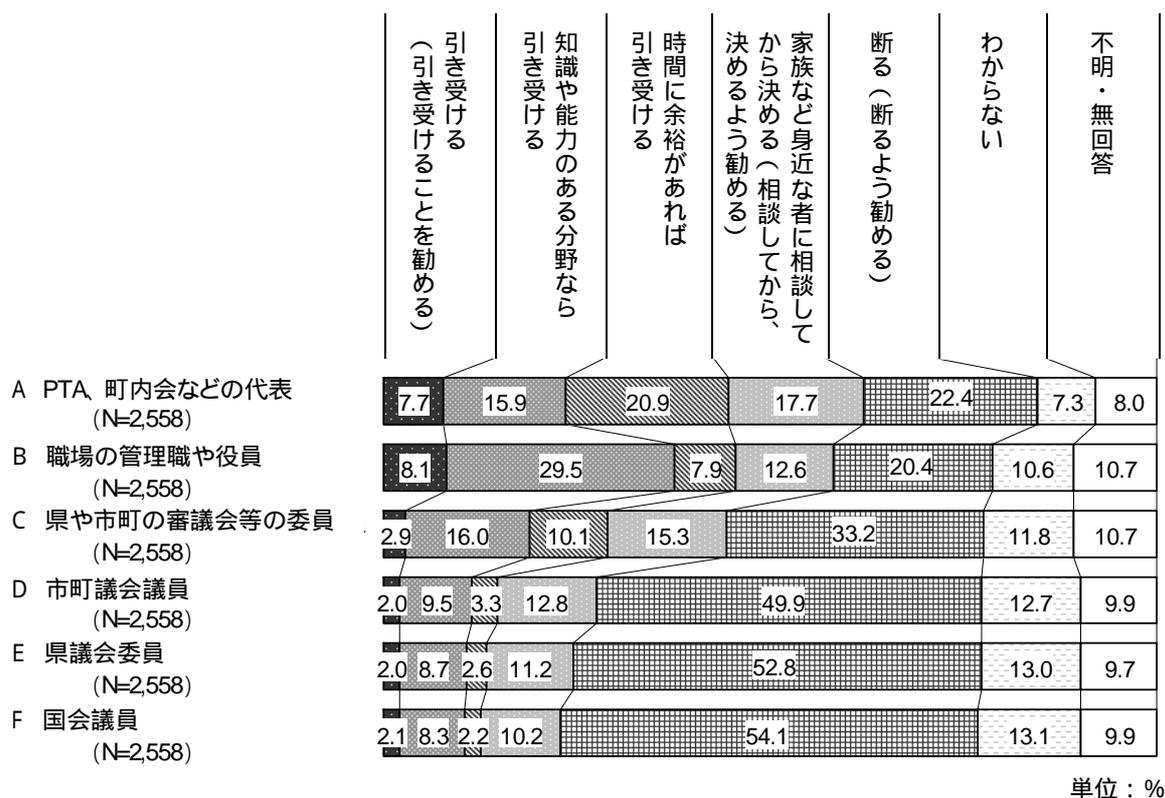
単位：N数（人） 選択肢の数値（%）

	全体（N数）	性別による役割分担や 家庭、職場、地域における 差別の意識	男性優位の組織運営	家族の支援・協力が 得られない	女性の能力開発の機会が 不十分	女性側の積極性が十分 ではない	女性と意識している人が少ないよ うな参画を積極的に進めよ う	その他	わからない	不明・無回答
全体	2,558	32.4	48.1	23.4	21.0	28.7	35.9	1.5	13.3	6.8
男性	1,150	33.2	50.7	20.9	19.9	27.8	34.7	1.7	12.0	6.3
女性	1,385	31.8	45.8	25.6	21.8	29.7	37.0	1.4	14.6	6.9
男性 / 20歳代	101	35.6	54.5	17.8	17.8	22.8	23.8	2.0	14.9	2.0
30歳代	151	31.1	45.0	17.9	17.2	19.9	28.5	2.6	18.5	2.6
40歳代	196	31.6	50.5	22.4	14.3	28.6	33.7	1.0	13.3	3.6
50歳代	197	40.6	56.9	24.9	23.4	27.4	35.5	2.5	8.1	2.5
60歳代	269	34.9	53.9	20.4	23.4	33.5	42.8	1.5	9.3	3.0
70歳以上	221	26.7	44.3	19.0	19.9	28.1	34.4	0.9	12.2	20.4
女性 / 20歳代	162	38.9	47.5	23.5	21.6	27.8	37.0	1.2	16.0	0.6
30歳代	180	36.7	55.0	32.8	17.2	24.4	33.9	2.8	11.7	2.2
40歳代	227	38.3	53.7	31.7	18.9	30.8	33.9	0.9	13.2	1.8
50歳代	271	35.4	48.3	28.0	23.2	31.7	43.2	1.5	11.4	3.7
60歳代	297	26.3	44.4	22.2	29.0	33.0	41.1	1.7	13.8	8.8
70歳以上	216	17.1	26.9	16.7	17.6	27.8	31.0	0.5	21.8	22.2
男性 / 就労している	753	34.8	52.6	23.2	19.7	27.9	34.4	1.7	11.4	2.9
就労していない	315	33.3	51.1	17.5	22.9	29.8	38.4	1.9	11.4	10.5
女性 / 就労している	739	35.9	46.8	29.5	20.2	31.4	39.0	1.4	12.7	3.5
就労していない	561	28.3	47.8	20.9	23.9	29.1	34.8	1.4	17.6	8.2

(3) 役職に立候補することを依頼された場合の対応

問 36 . あなたが女性の場合はあなたが、あなたが男性の場合は妻・母親など身近な女性が、もし次のような役職に立候補することを依頼された場合、どうしますか。A～Fのそれぞれについて1つずつ選んで 印をつけてください。

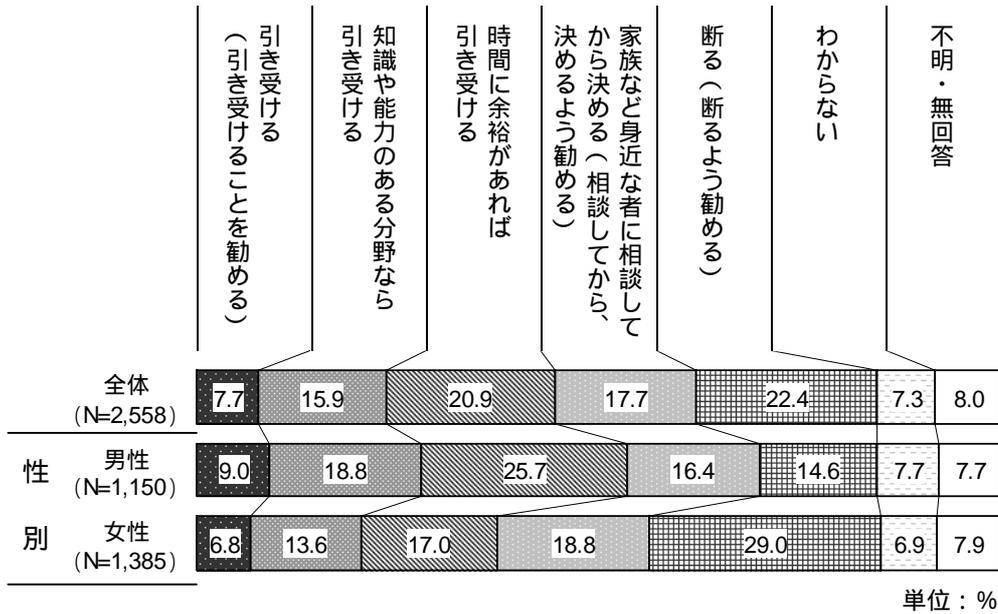
問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 A～Fの役職別比較 【全体】



A～Fの役職を比較すると、『引き受ける』と答えた人の割合は「B 職場の管理職や役員」が45.5%と最も高くなっています。次いで、「A PTA、町内会などの代表」(44.5%)、「C 県や市町の審議会等の委員」(29.0%)の順で高くなっています。また、「断る (断るよう勧める)」と答えた人の割合は、「F 国会議員」が54.1%と最も高くなっています。

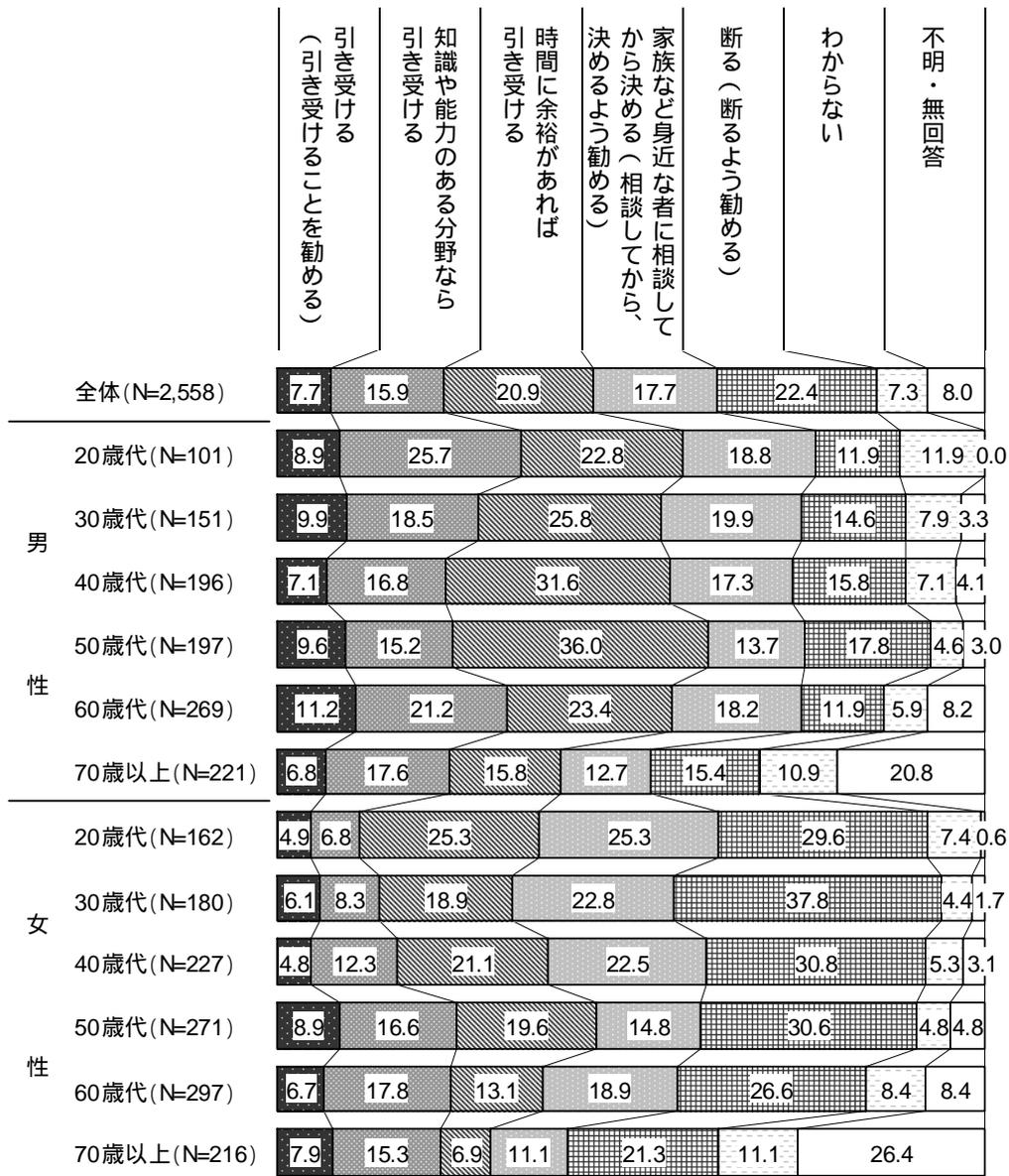
『引き受ける』は、本来の選択肢の「引き受ける (引き受けることを勧める)」と「知識や能力のある分野なら引き受ける」、「時間に余裕があれば引き受ける」の割合を合計したものです。以降のページも同様。

問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 A P T A、町内会などの代表
【全体 / 性別】



全体では、『引き受ける』と答えた人の割合は44.5%となっています。
性別でみると、『引き受ける』と答えた人の割合は、男性(53.5%)が女性(37.4%)を上回っています。
また、「断る(断るよう勧める)」と答えた人の割合は、女性(29.0%)が男性(14.6%)を14.4ポイント上回っています。

問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 A P T A、町内会などの代表
【性別・年代別】

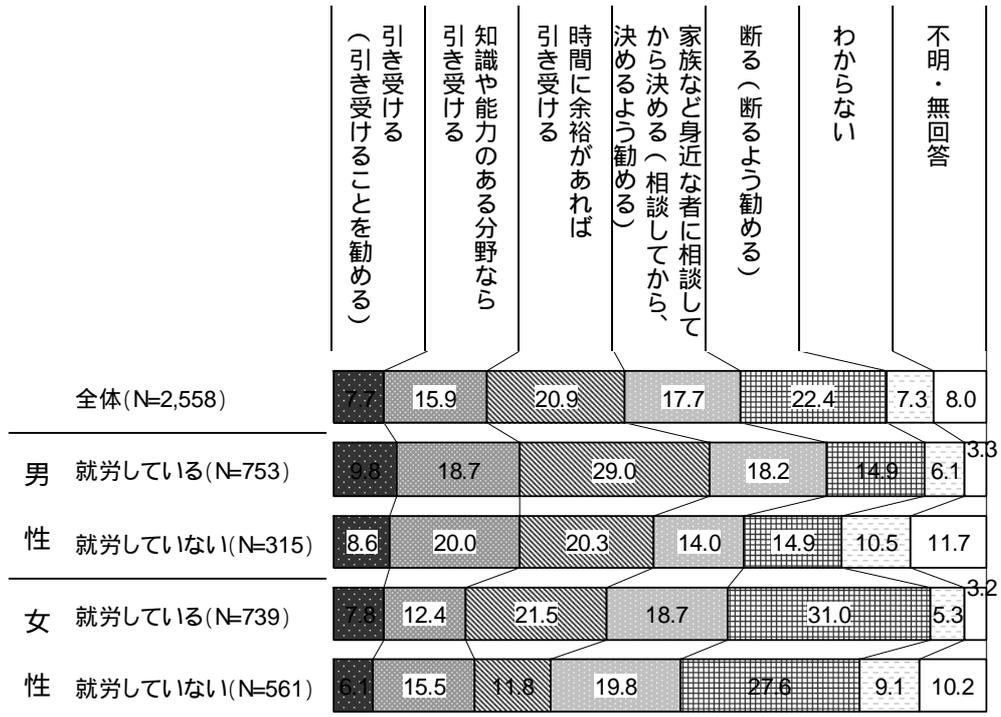


単位：%

性別・年代別でみると、『引き受ける』と答えた人の割合は、男性の50歳代(60.8%)が高くなっています。

「断る(断るよう勧める)」と答えた人の割合は、女性の30歳代(37.8%)、40歳代(30.8%)、50歳代(30.6%)が3割以上と高くなっています。

問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 A P T A、町内会などの代表
【性別・就労状況別】

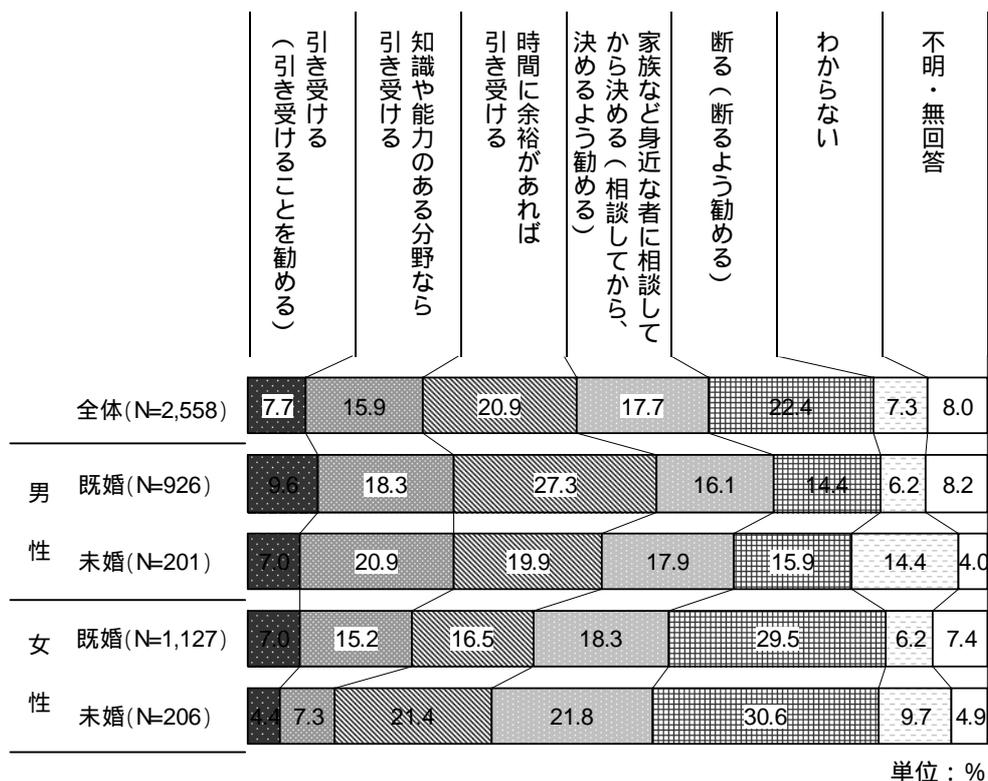


単位：%

性別・就労状況別でみると、『引き受ける』と答えた人の割合は、男性の就労している(57.5%)が高くなっています。

「断る(断るよう勧める)」と答えた人の割合は、女性の就労している(31.0%)が3割以上と高くなっています。

問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 A P T A、町内会などの代表
【性別・婚姻状況別】



性別・婚姻状況別で見ると、『引き受ける』と答えた人の割合は、男性の既婚者（55.2%）が高くなっています。

「断る（断るよう勧める）」と答えた人の割合は、女性の未婚者（30.6%）が3割以上と高くなっています。

問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 A P T A、町内会などの代表
【家族構成別】

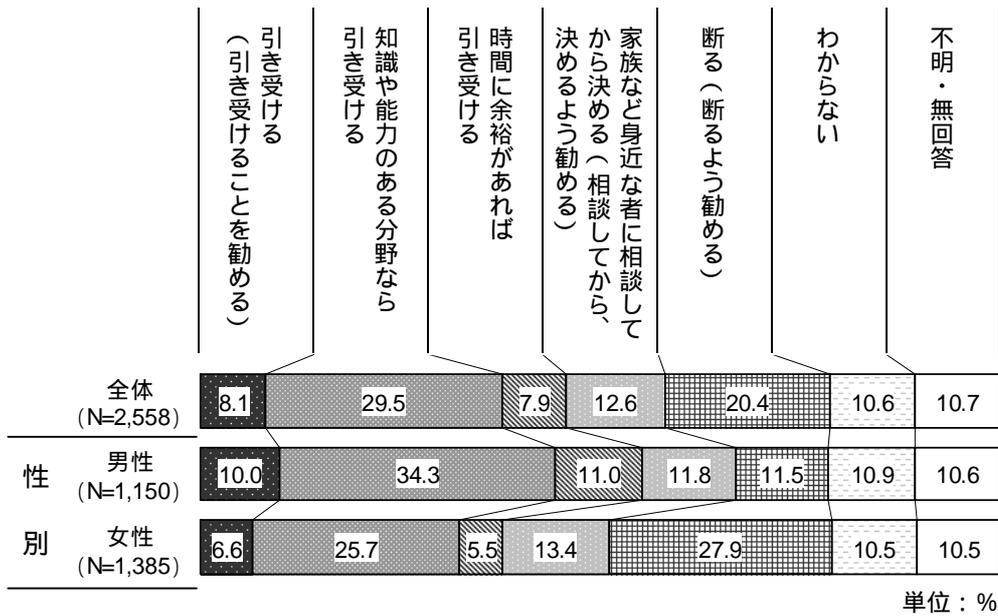
	(引き受けることを勧める)	引き受ける	知識や能力のある分野なら引き受ける	時間に余裕があれば引き受ける	家族など身近な者に相談してから決める(相談してから、決めるよう勧める)	断る(断るよう勧める)	わからない	不明・無回答
全体 (N=2,558)	7.7	15.9	20.9	17.7	22.4	7.3	8.0	
単身世帯(あなただけ) (N=170)	8.8	18.2	17.6	12.9	21.8	8.8	11.8	
1世代世帯(夫婦だけ) (N=622)	7.2	19.0	17.5	15.1	22.0	8.2	10.9	
2世代世帯(夫婦と子、夫婦と親 親と子など)(N=1,146)	8.0	14.6	22.6	18.5	24.2	6.5	5.7	
3世代世帯(祖父母と夫婦と子、 親と子と孫など)(N=439)	7.5	16.4	24.8	22.1	18.0	6.4	4.8	
その他 (N=129)	7.8	9.3	16.3	12.4	26.4	13.2	14.7	

単位：%

家族構成別で見ると、『引き受ける』と答えた人の割合は、3世代世帯(祖父母と夫婦と子、親と子と孫など)(48.7%)が最も高くなっています。

「断る(断るよう勧める)」と答えた人の割合は、その他(26.4%)が最も高くなっています。

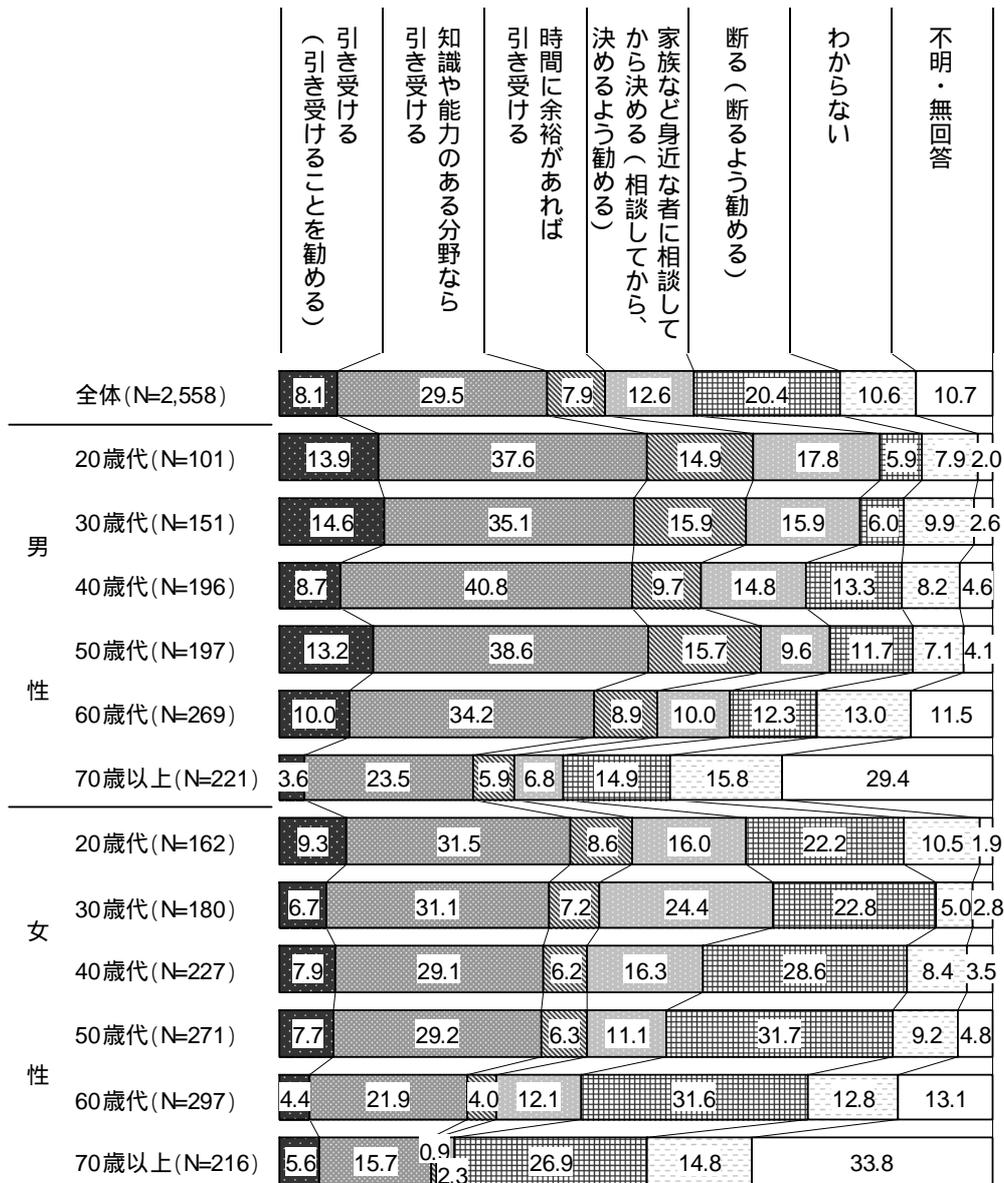
問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 B 職場の管理職や役員
【全体 / 性別】



全体では、『引き受ける』と答えた人の割合は45.5%となっています。

性別でみると、『引き受ける』と答えた人の割合は、男性(55.3%)が女性(37.8%)を17.5ポイント上回っています。「断る(断るよう勧める)」と答えた人の割合は、女性(27.9%)が男性(11.5%)を16.4ポイント上回っています。

問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 B 職場の管理職や役員
【性別・年代別】

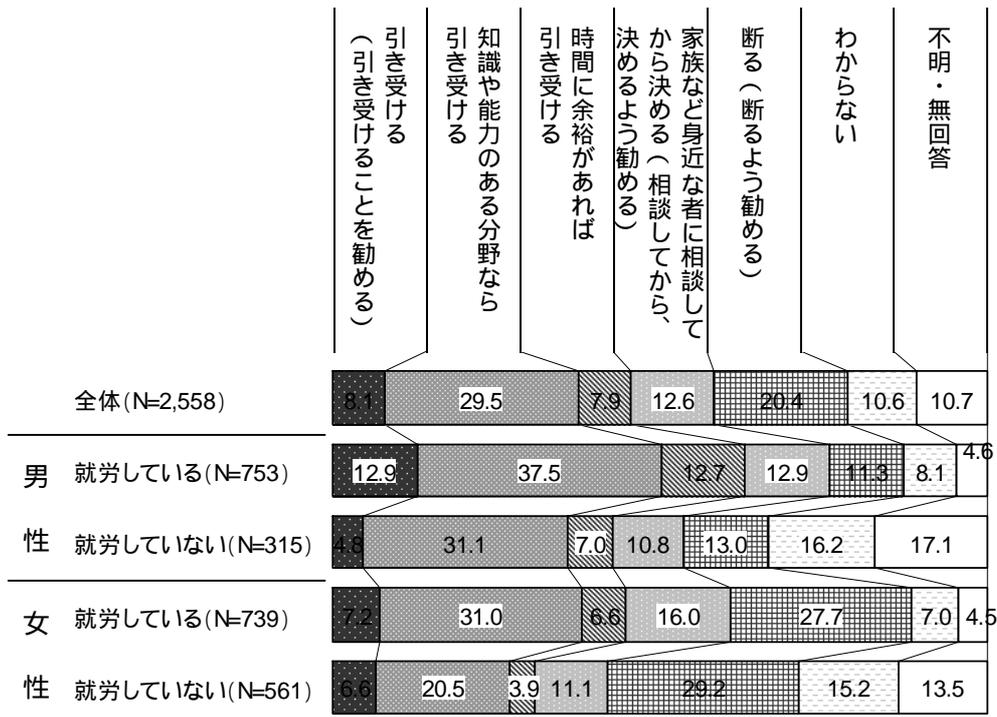


単位：%

性別・年代別でみると、『引き受ける』と答えた人の割合は、男性の50歳代(67.5%)、30歳代(65.6%)が6割を超え、高くなっています。

「断る(断るよう勧める)」と答えた人の割合は、女性の50歳代(31.7%)、60歳代(31.6%)が高くなっています。

問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 B 職場の管理職や役員
【性別・就労状況別】

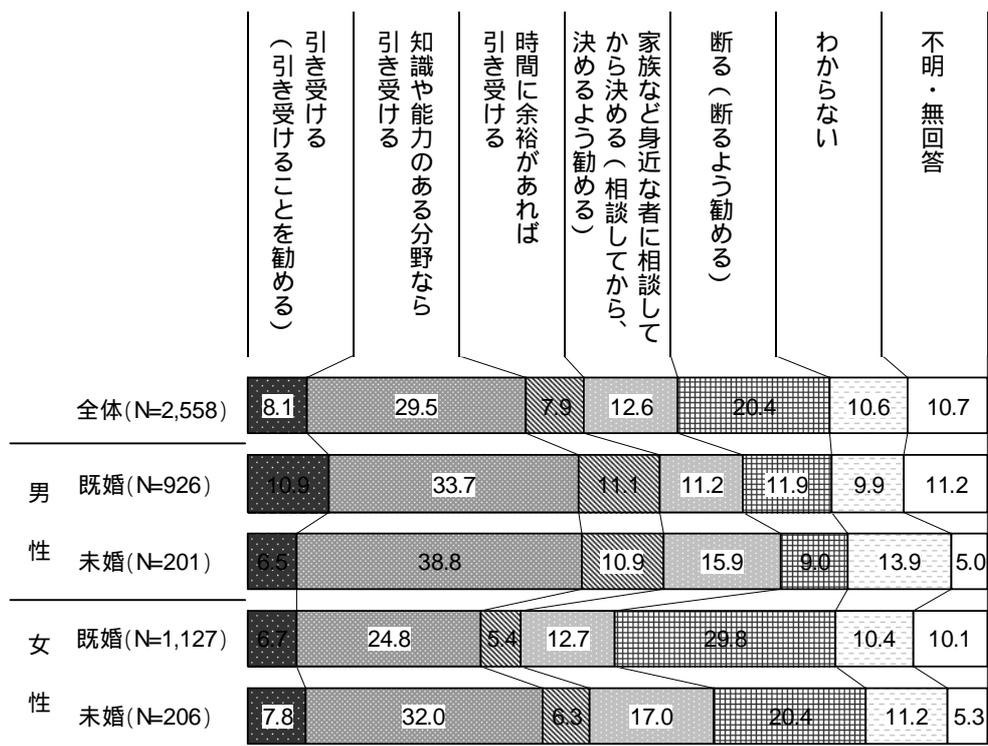


単位：%

性別・就労状況別で見ると、『引き受ける』と答えた人の割合は、男性の就労している(63.1%)が最も高くなっています。

「断る(断るよう勧める)」と答えた人の割合は、女性の就労していない(29.2%)が最も高くなっています。

問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 B 職場の管理職や役員
【性別・婚姻状況別】

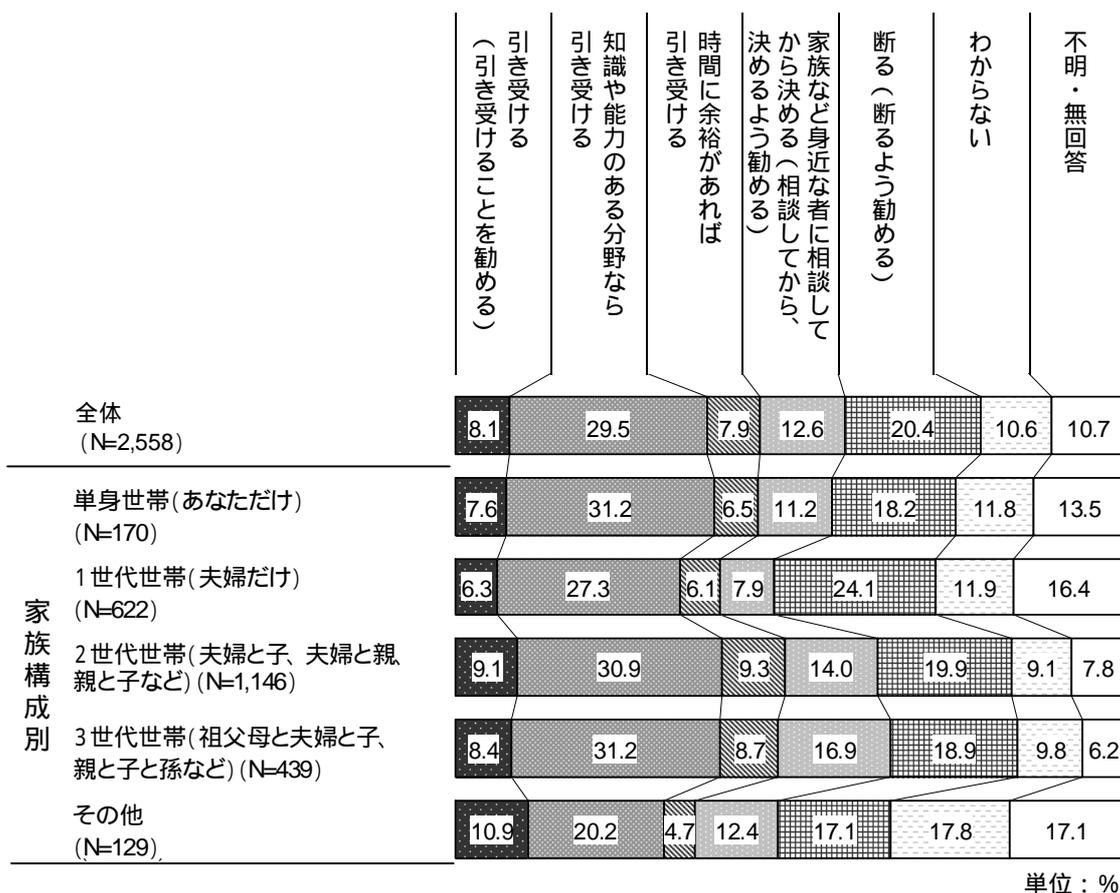


単位：%

性別・婚姻状況別で見ると、『引き受ける』と答えた人の割合は、男性の未婚者（56.2%）が最も高くなっています。

「断る（断るよう勧める）」と答えた人の割合は、女性の既婚者（29.8%）が最も高くなっています。

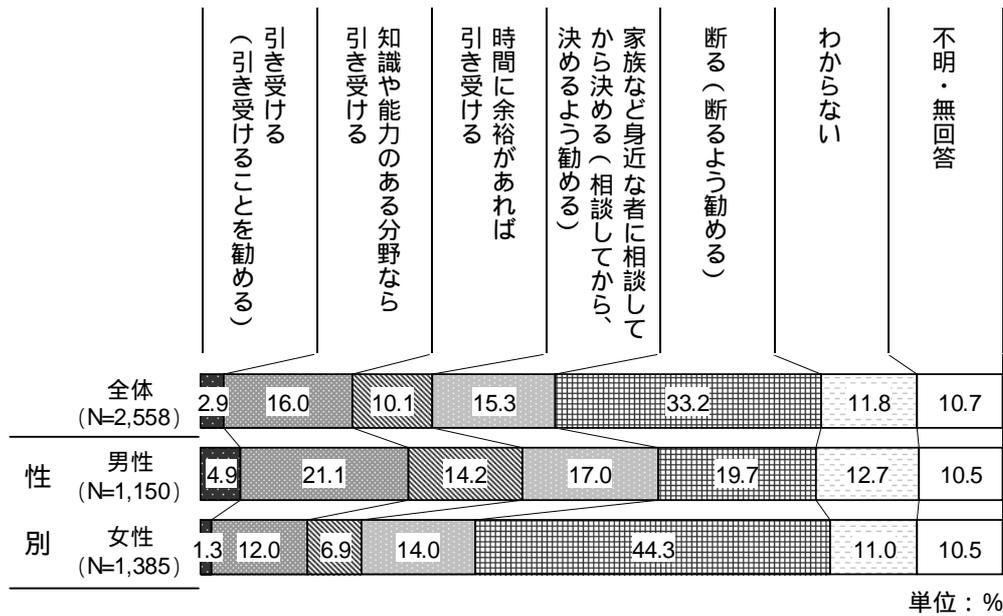
問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 B 職場の管理職や役員
【家族構成別】



家族構成別でみると、『引き受ける』と答えた人の割合は、2世代世帯(夫婦と子、夫婦と親、親と子など)(49.3%)が最も高くなっています。

「断る(断るよう勧める)」と答えた人の割合は、1世代世帯(夫婦だけ)(24.1%)が最も高くなっています。

問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 C 県や市町の審議会等の委員
【全体 / 性別】

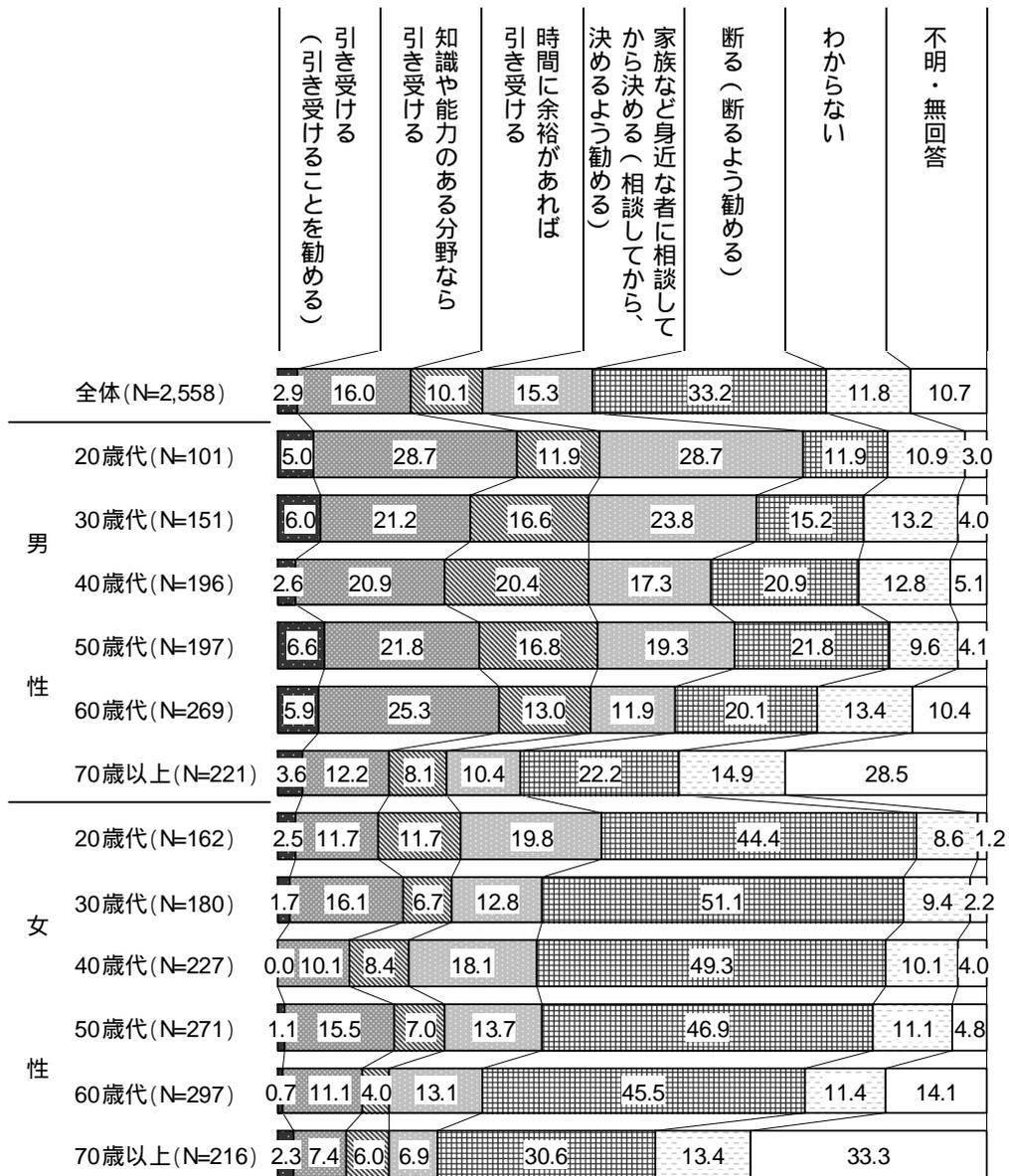


全体では、『引き受ける』と答えた人の割合は 29.0%で、「断る（断るよう勧める）」と答えた人の割合は 33.2%となっています。

性別でみると、『引き受ける』と答えた人の割合は、男性(40.2%)が女性(20.2%)を上回っています。

「断る（断るよう勧める）」と答えた人の割合は、女性(44.3%)が男性(19.7%)を 24.6ポイント上回っています。

問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 C 県や市町の審議会等の委員
【性別・年代別】

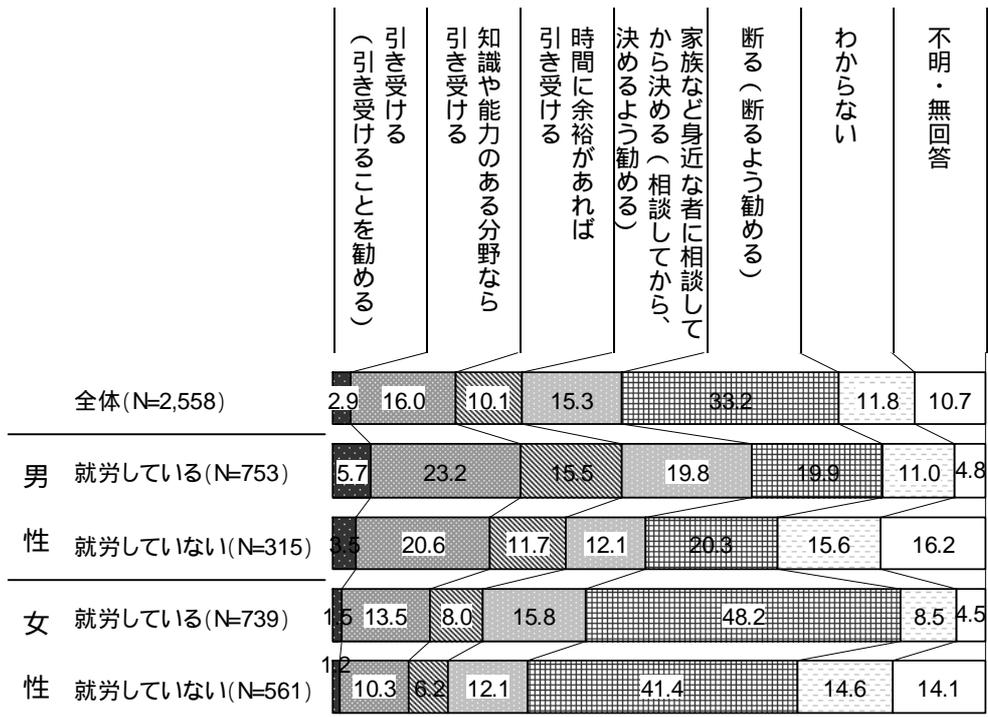


単位：%

性別・年代別で見ると、『引き受ける』と答えた人の割合は、男性の30歳代から60歳代は4割を超え、高くなっています。

「断る(断るよう勧める)」と答えた人の割合は、女性の30歳代(51.1%)が5割を超える結果となっています。

問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 C 県や市町の審議会等の委員
【性別・就労状況別】

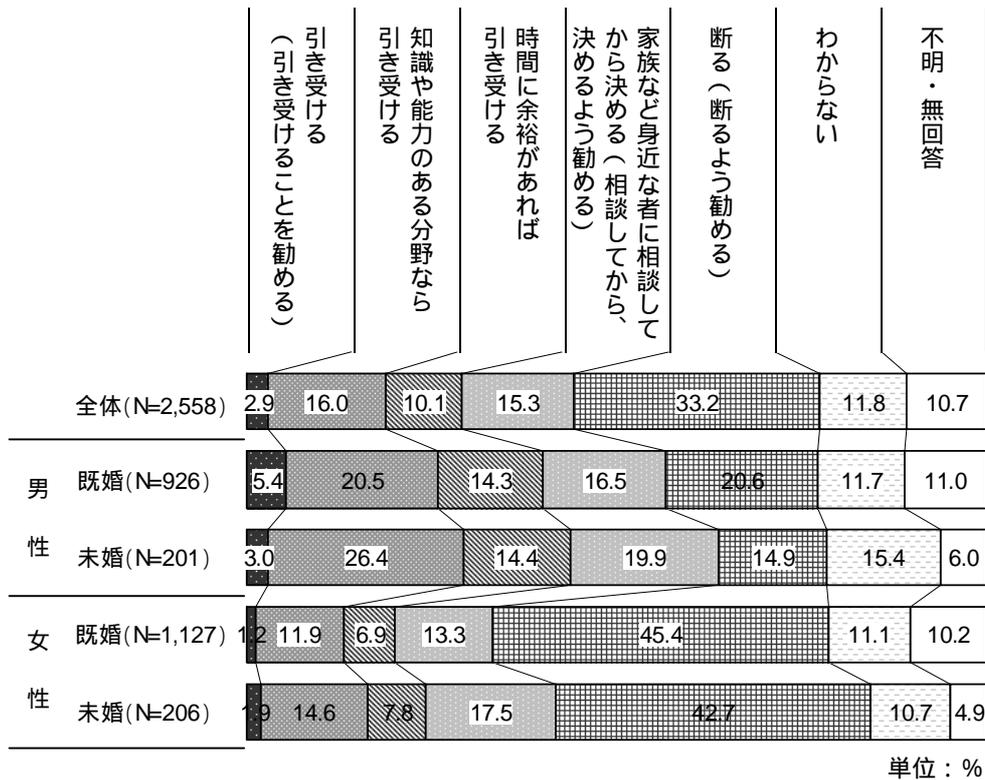


単位：%

性別・就労状況別でみると、『引き受ける』と答えた人の割合は、男性の就労している(44.4%)が最も高くなっています。

「断る(断るよう勧める)」と答えた人の割合は、女性の就労している(48.2%)が最も高くなっています。

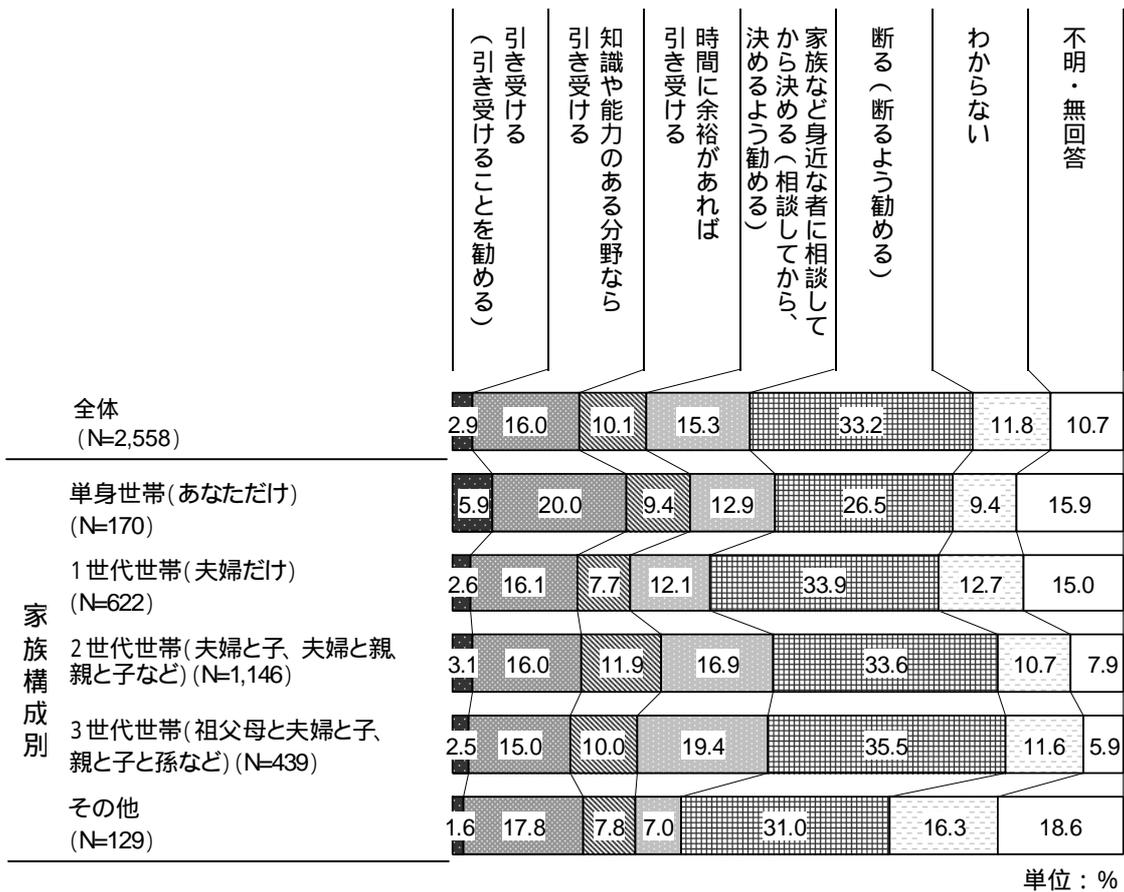
問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 C 県や市町の審議会等の委員
【性別・婚姻状況別】



性別・婚姻状況別で見ると、『引き受ける』と答えた人の割合は、男性の未婚者(43.8%)が最も高くなっています。

「断る(断るよう勧める)」と答えた人の割合は、女性の既婚者(45.4%)が最も高くなっています。

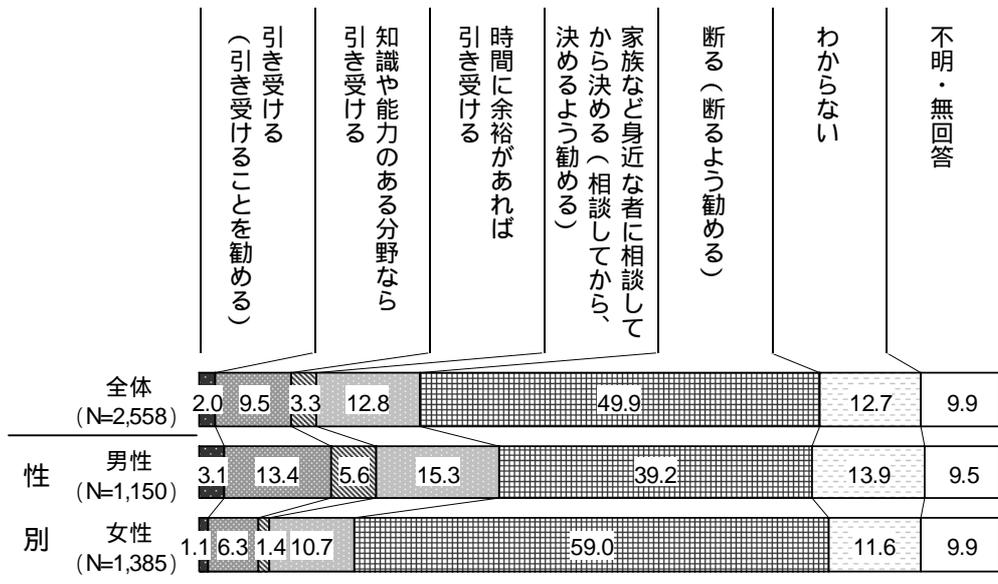
問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 C 県や市町の審議会等の委員
【家族構成別】



家族構成別で見ると、『引き受ける』と答えた人の割合は、単身世帯(35.3%)が最も高くなっています。

「断る(断るよう勧める)」と答えた人の割合は、3世代世帯(祖父母と夫婦と子、親と子と孫など)(35.5%)が最も高くなっています。

問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 D 市町議会議員 【全体 / 性別】



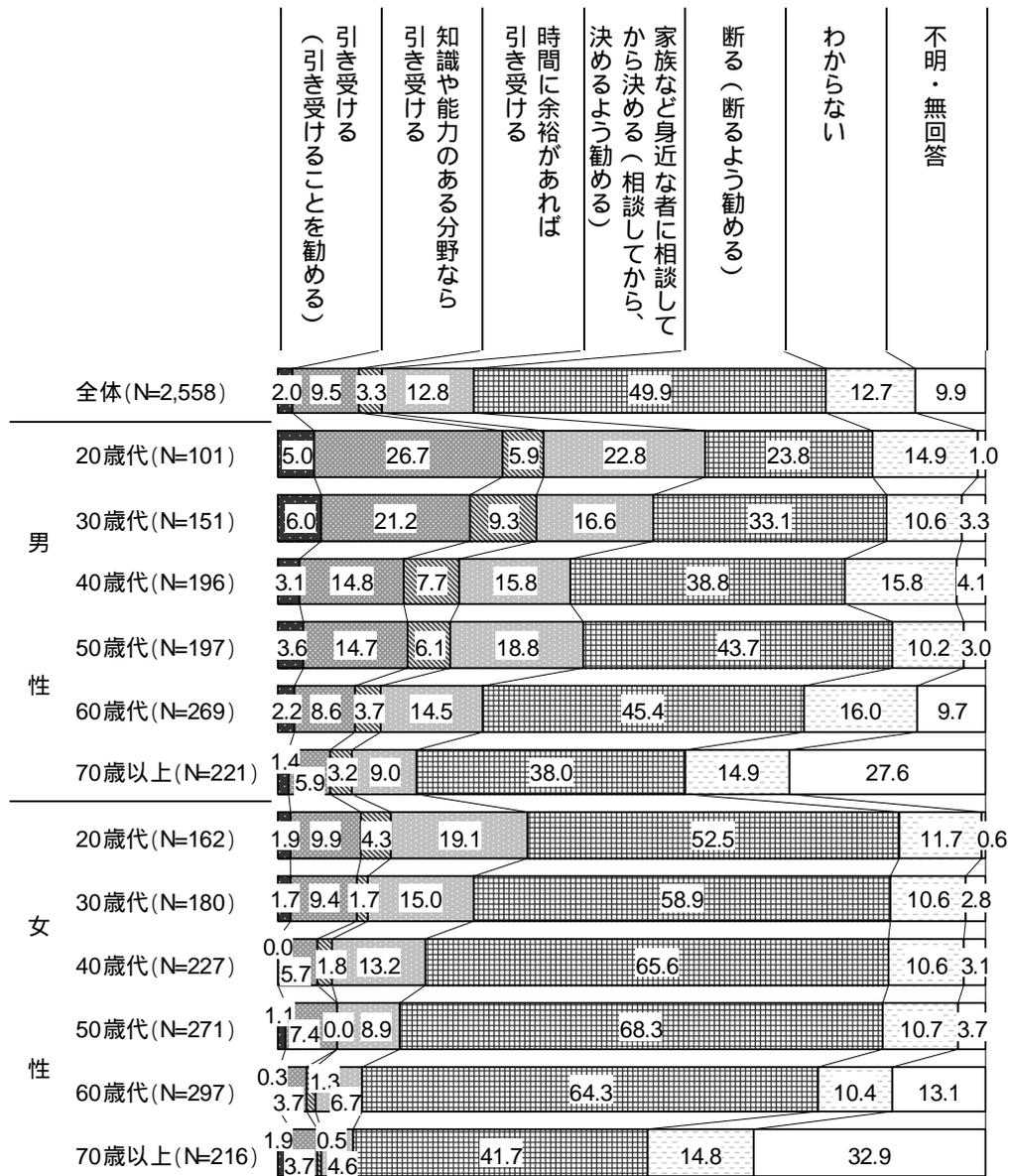
単位：%

全体では、『引き受ける』と答えた人の割合は 14.8%、これに対し「断る (断るよう勧める)」と答えた人の割合は 49.9%と高くなっています。

性別でみると、『引き受ける』と答えた人の割合は、男性 (22.1%) が女性 (8.8%) を 13.3 ポイント上回っています。

また、「断る (断るよう勧める)」と答えた人の割合は、女性 (59.0%) が男性 (39.2%) を 19.8 ポイント上回っています。

問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 D 市町議会議員 【性別・年代別】

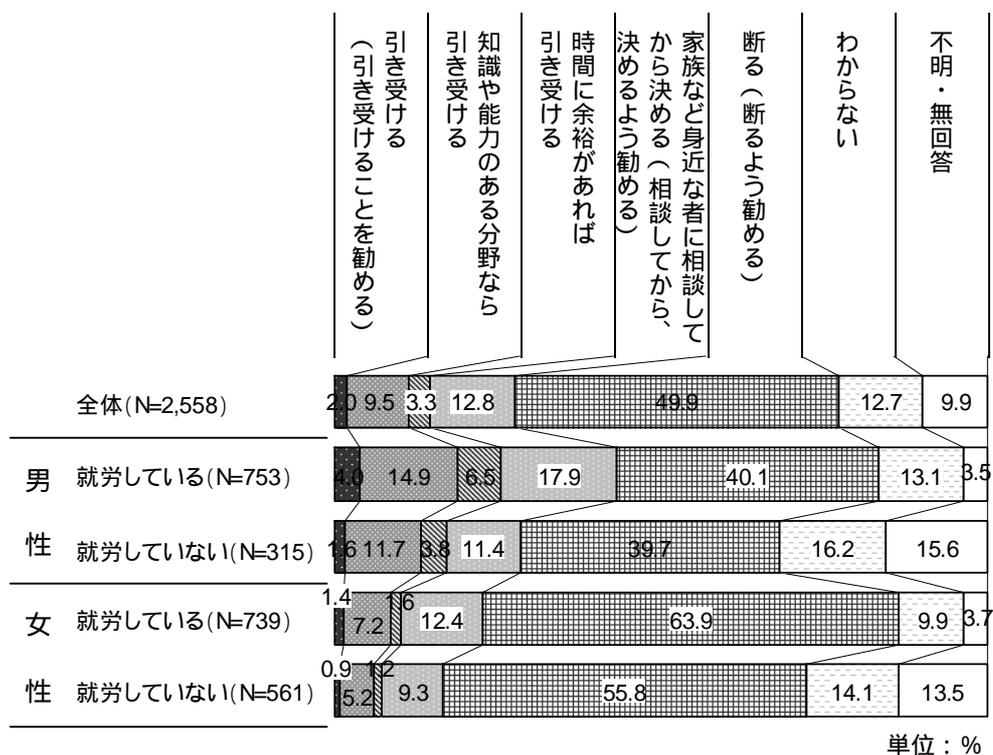


単位：%

性別・年代別でみると、『引き受ける』と答えた人の割合は、男性の30歳代(36.5%)が最も高くなっています。

「断る(断るよう勧める)」と答えた人の割合は、女性の40歳代(65.6%)、50歳代(68.3%)、60歳代(64.3%)が6割を超える結果となっています。

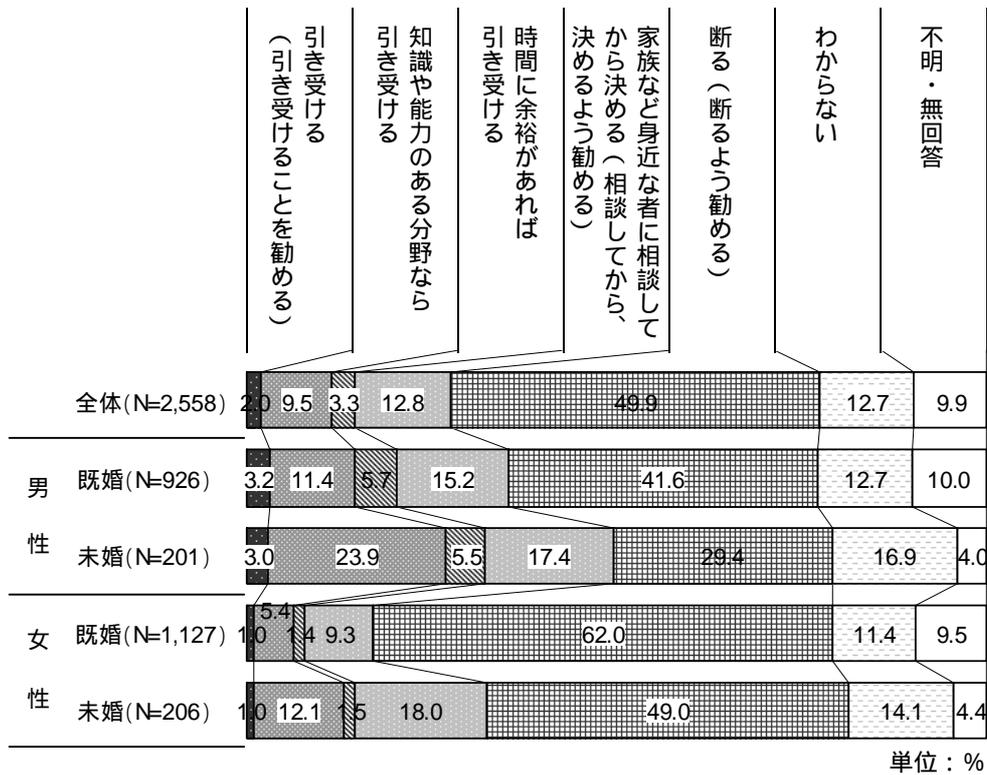
問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 D 市町議会議員 【性別・就労状況別】



性別・就労状況別でみると、『引き受ける』と答えた人の割合は、男性の就労している(25.4%)が最も高くなっています。

「断る(断るよう勧める)」と答えた人の割合は、女性の就労している(63.9%)が最も高くなっています。

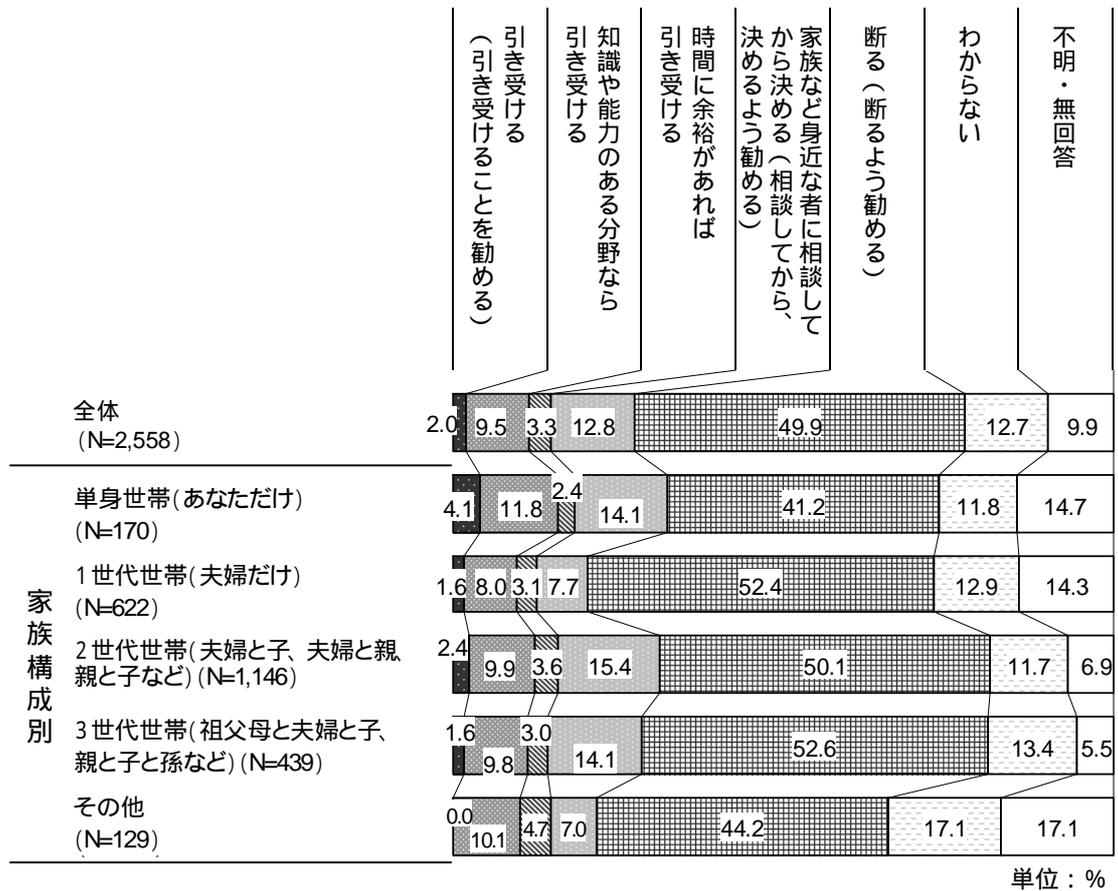
問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 D 市町議会議員 【性別・婚姻状況別】



性別・婚姻状況別で見ると、『引き受ける』と答えた人の割合は、男性の未婚者(32.4%)が最も高くなっています。

「断る(断るよう勧める)」と答えた人の割合は、女性の既婚者(62.0%)が最も高くなっています。

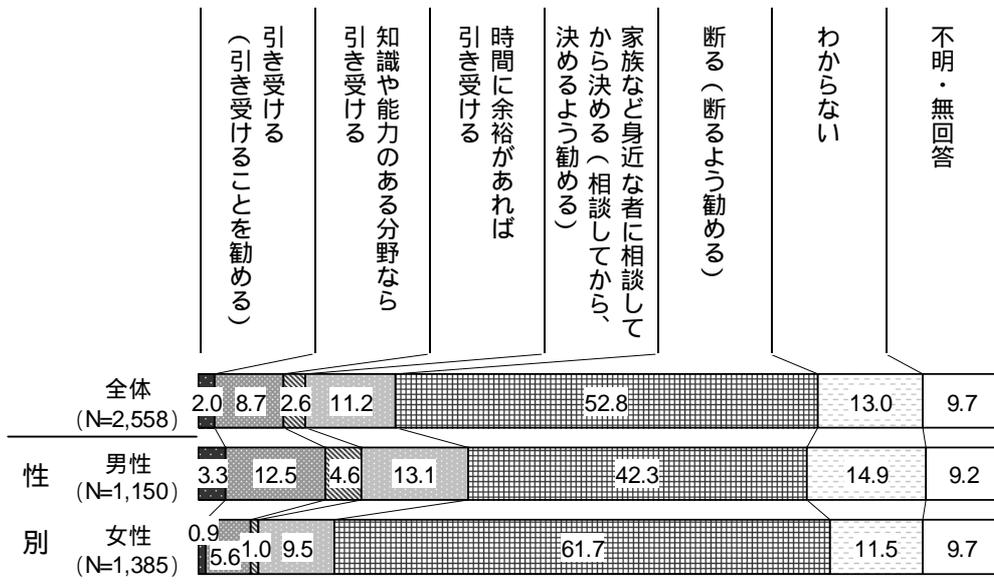
問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 D 市町議会議員 【家族構成別】



家族構成別でみると、『引き受ける』と答えた人の割合は、単身世帯(18.3%)が最も高くなっています。

「断る(断るよう勧める)」と答えた人の割合は、3 世代世帯(祖父母と夫婦と子、親と子と孫など)(52.6%)が最も高くなっています。

問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 E 県議会議員 【全体 / 性別】



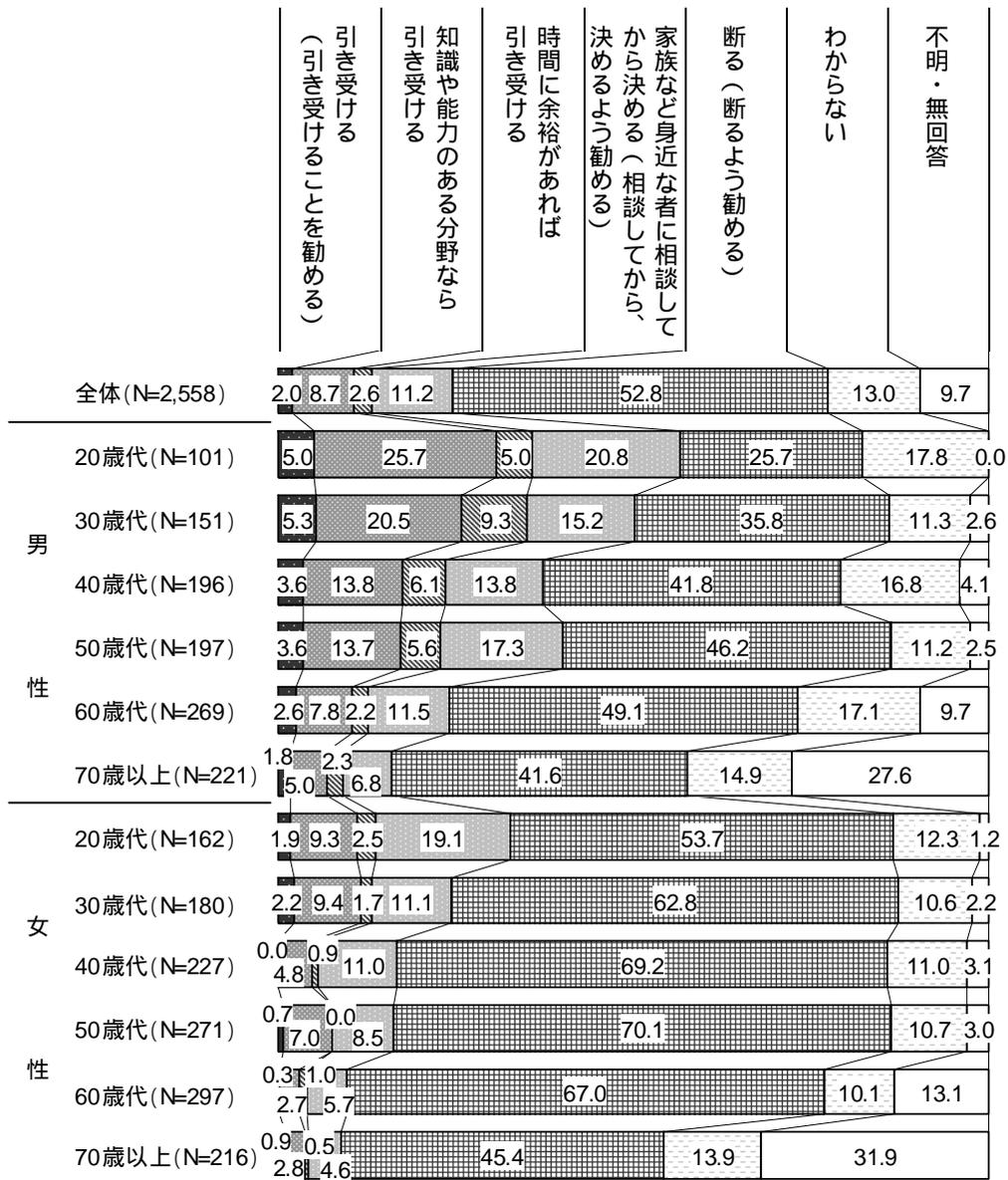
単位：%

全体では、『引き受ける』と答えた人の割合は 13.3%、これに対し「断る (断るよう勧める)」と答えた人の割合は 52.8%と高くなっています。

性別でみると、『引き受ける』と答えた人の割合は、男性 (20.4%) が女性 (7.5%) を 12.9 ポイント上回っています。

また、「断る (断るよう勧める)」と答えた人の割合は、女性 (61.7%) が男性 (42.3%) を 19.4 ポイント上回っています。

問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 E 県議会議員 【性別・年代別】

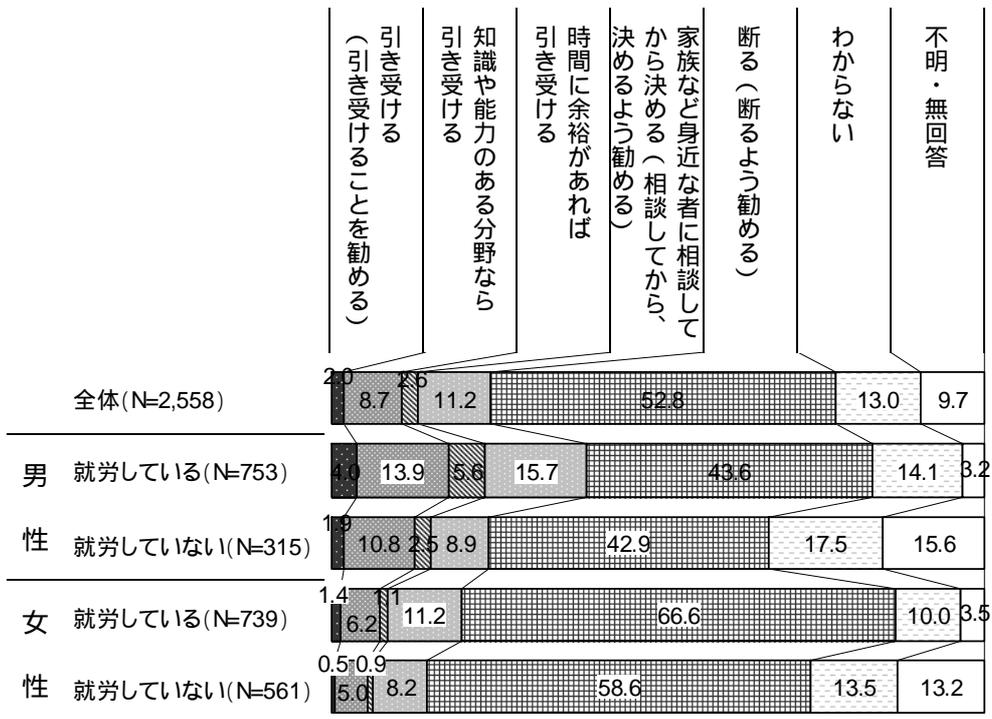


単位：%

性別・年代別でみると、『引き受ける』と答えた人の割合は、男性の30歳代(35.1%)が高くなっています。

「断る(断るよう勧める)」と答えた人の割合は、女性の30歳代から60歳代が6割を超え、高くなっています。

問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 E 県議会議員 【性別・就労状況別】

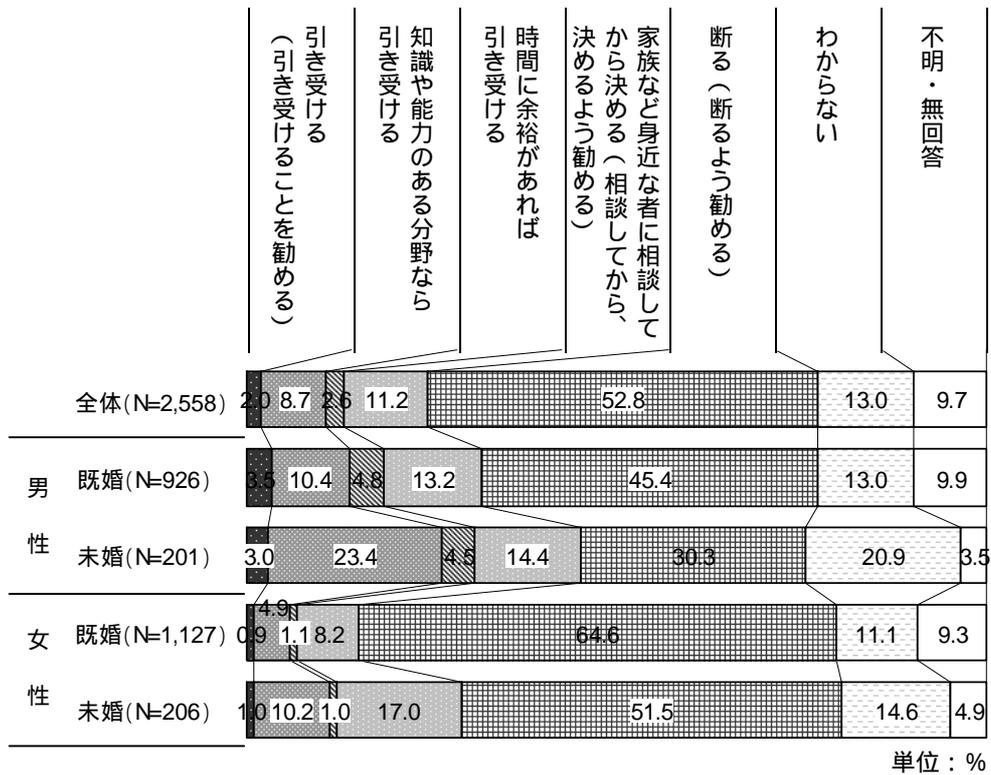


単位：%

性別・就労状況別でみると、『引き受ける』と答えた人の割合は、男性の就労している(23.5%)が最も高くなっています。

「断る(断るよう勧める)」と答えた人の割合は、女性の就労している(66.6%)が最も高くなっています。

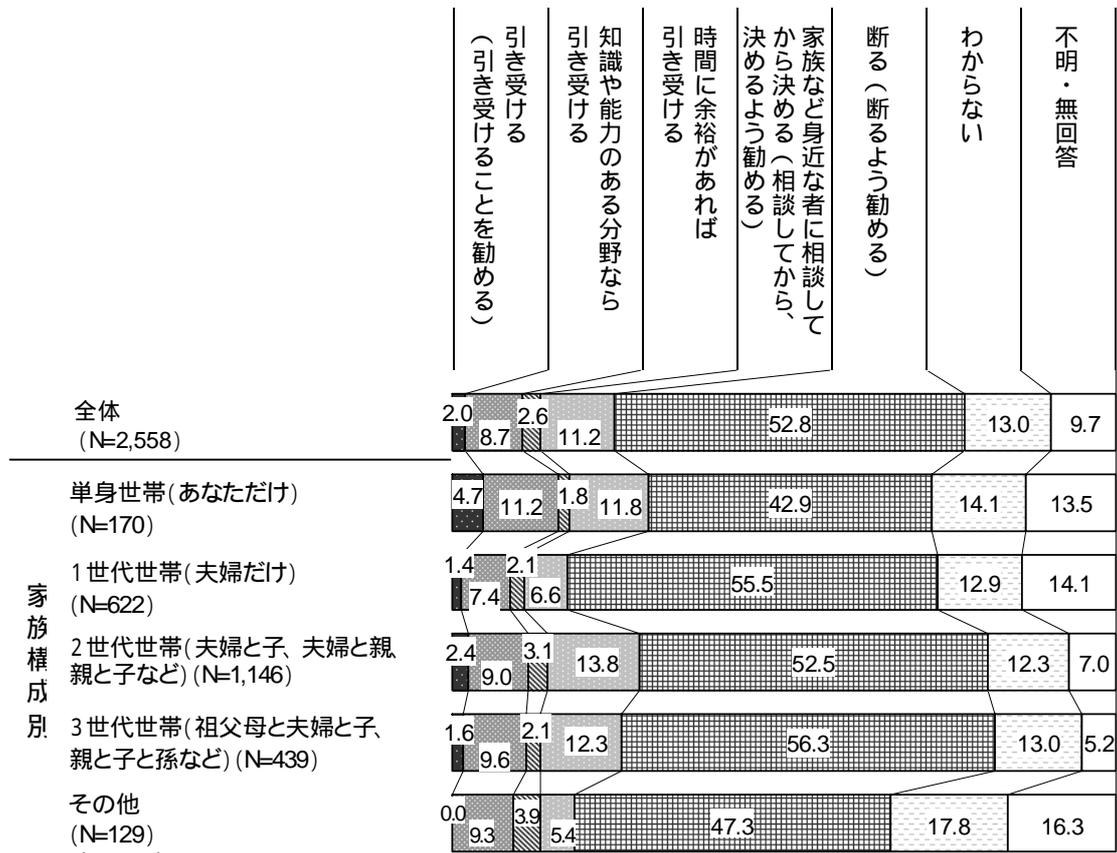
問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 E 県議会議員 【性別・婚姻状況別】



性別・婚姻状況別で見ると、『引き受ける』と答えた人の割合は、男性の未婚者(30.9%)が最も高くなっています。

「断る(断るよう勧める)」と答えた人の割合は、女性の既婚者(64.6%)が最も高くなっています。

問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 E 県議会議員 【家族構成別】

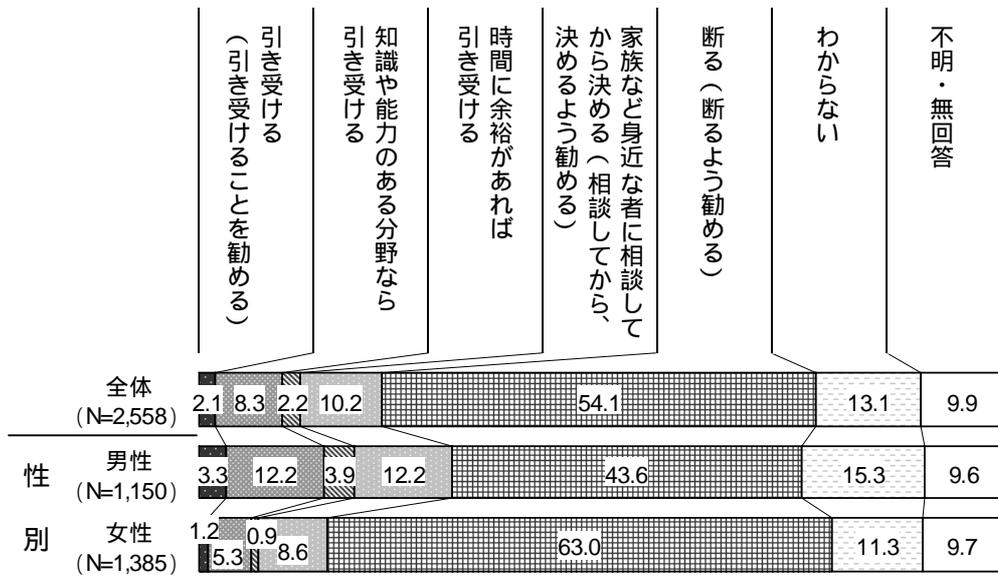


単位：%

家族構成別でみると、『引き受ける』と答えた人の割合は、単身世帯(17.7%)が最も高くなっています。

「断る(断るよう勧める)」と答えた人の割合は、3世代世帯(祖父母と夫婦と子、親と子と孫など)(56.3%)が最も高くなっています。

問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 F 国会議員 【全体 / 性別】



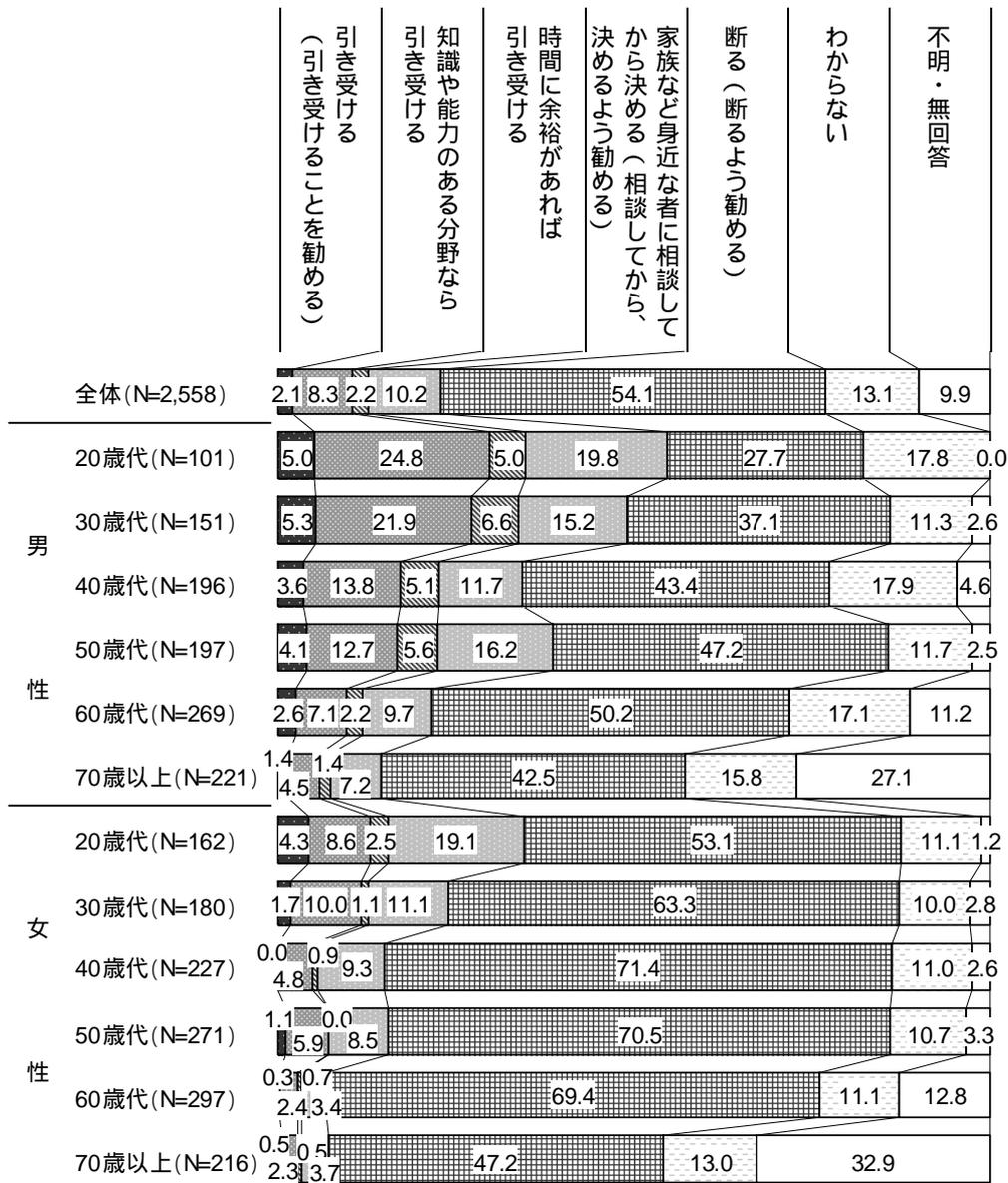
単位：%

全体では、『引き受ける』と答えた人の割合は 12.6%、これに対し「断る (断るよう勧める)」と答えた人の割合は 54.1%と高くなっています。

性別でみると、『引き受ける』と答えた人の割合は、男性 (19.4%) が女性 (7.4%) を 12.0 ポイント上回っています。

また、「断る (断るよう勧める)」と答えた人の割合は、女性 (63.0%) が男性 (43.6%) を 19.4 ポイント上回っています。

問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 F 国会議員 【性別・年代別】

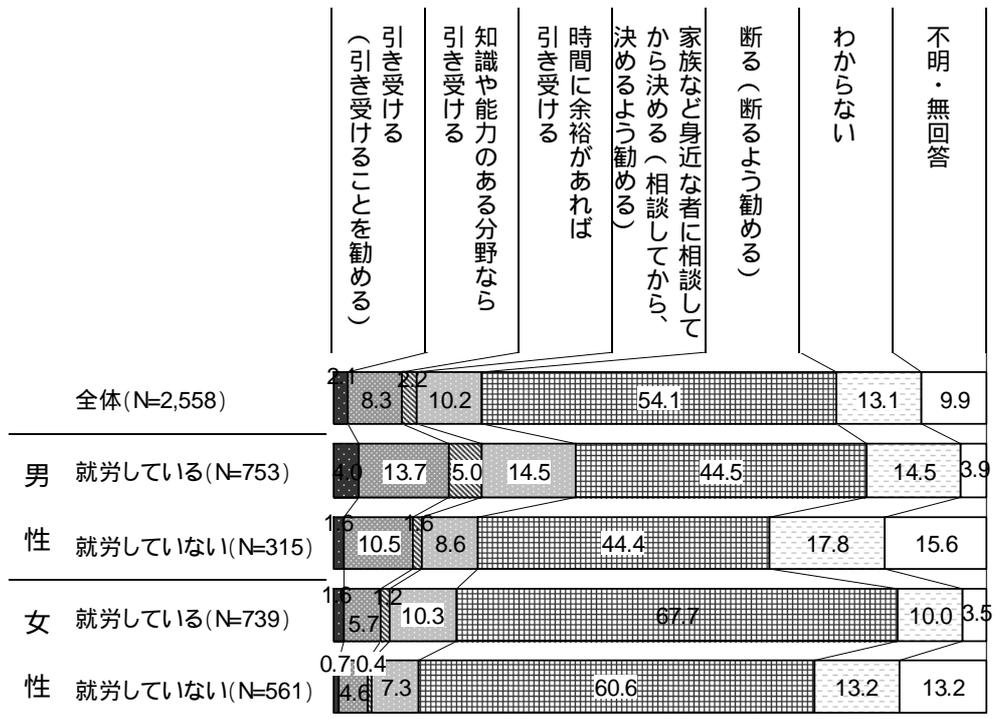


単位：%

性別・年代別でみると、『引き受ける』と答えた人の割合は、男性の30歳代(33.8%)が高くなっています。

「断る(断るよう勧める)」と答えた人の割合は、女性の40歳代(71.4%)、50歳代(70.5%)が7割以上と高くなっています。

問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 F 国会議員 【性別・就労状況別】

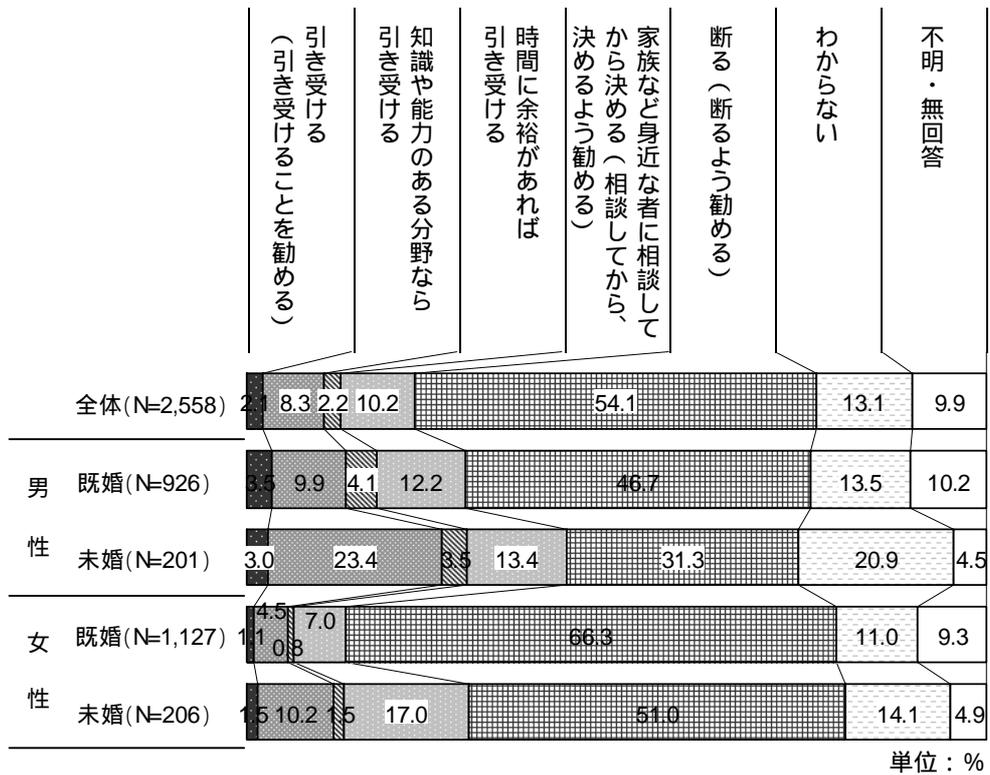


単位：%

性別・就労状況別でみると、『引き受ける』と答えた人の割合は、男性の就労している(22.7%)が最も高くなっています。

『断る(断るよう勧める)』と答えた人の割合は、女性の就労している(67.7%)が最も高くなっています。

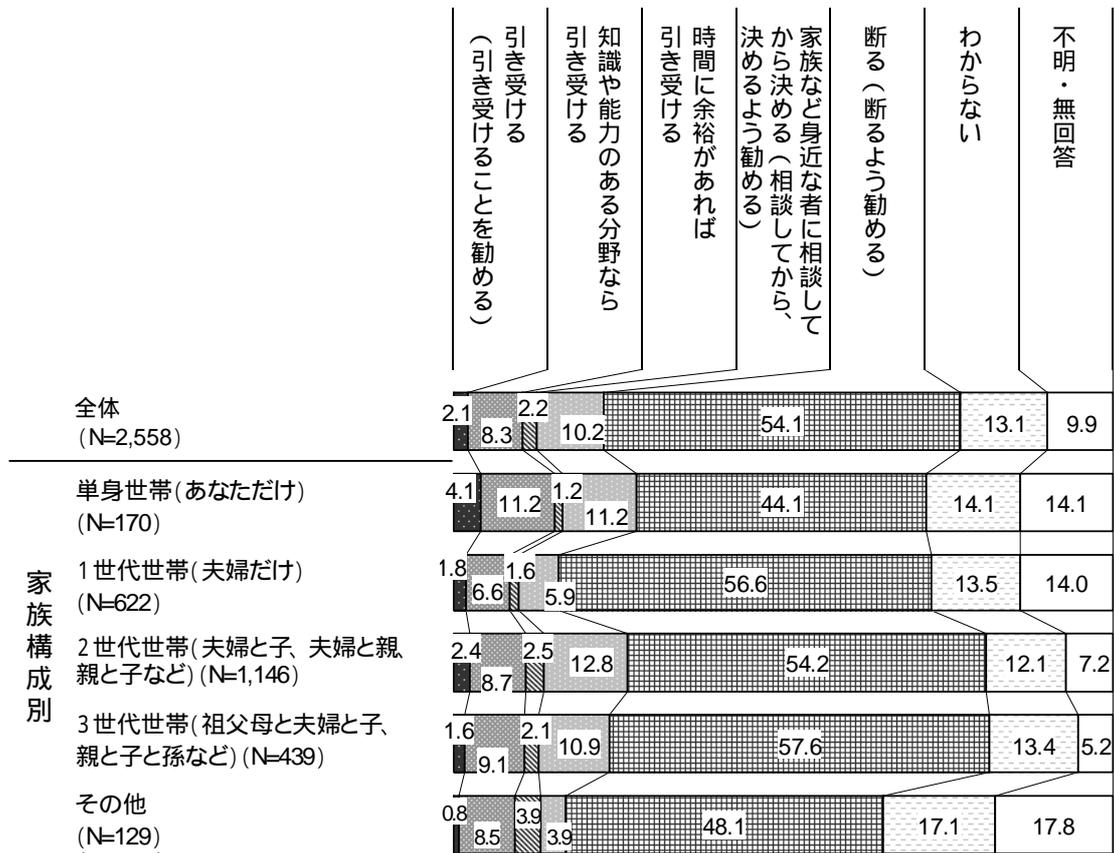
問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 F 国会議員 【性別・婚姻状況別】



性別・婚姻状況別で見ると、『引き受ける』と答えた人の割合は、男性の未婚者（29.9%）が最も高くなっています。

「断る（断るよう勧める）」と答えた人の割合は、女性の既婚者（66.3%）が最も高くなっています。

問 36 役職に立候補することを依頼された場合の対応 F 国会議員 【家族構成別】



単位：%

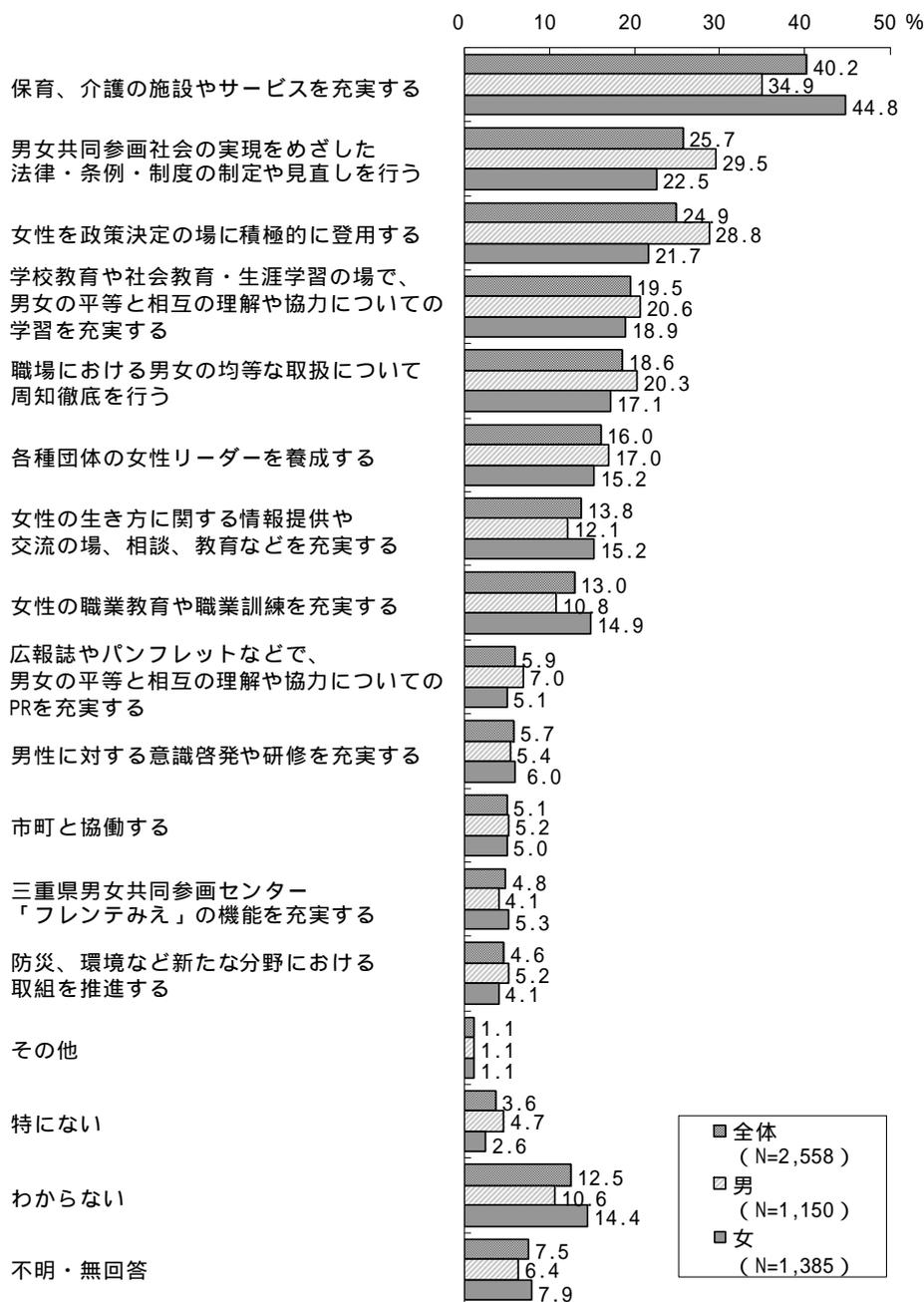
家族構成別でみると、『引き受ける』と答えた人の割合は、単身世帯(16.5%)が最も高くなっています。

「断る(断るよう勧める)」と答えた人の割合は、3世代世帯(祖父母と夫婦と子、親と子と孫など)(57.6%)が最も高くなっています。

(4) 男女共同参画を推進していくために県が力を入れていくべきこと

問 37. 男女共同参画を推進していくために、今後、県はどのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。次の中から3つ以内で選んで 印をつけてください。

問 37 男女共同参画を推進していくために県が力を入れていくべきこと 【全体/性別】



全体では、「保育、介護の施設やサービスを充実する」と答えた人の割合が 40.2%と最も高くなっています。

性別で見ると、「保育、介護の施設やサービスを充実する」、「女性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、教育などを充実する」、「女性の職業教育や職業訓練を充実する」、「男性に対する意識啓発や研修を充実する」、「三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」の機能を充実する」、「わからない」と答えた人の割合は、女性が男性を上回っています。

問 37 男女共同参画を推進していくために県が力を入れていくべきこと

【性別・年代別・就労状況別・職業別】

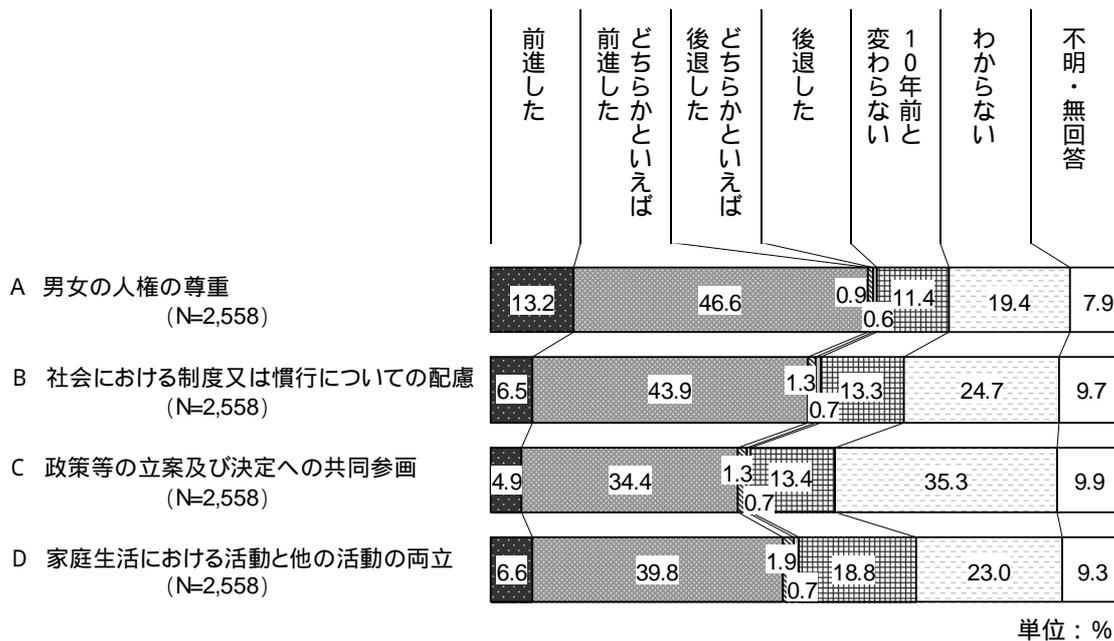
単位：N数（人） 選択肢の数値（%）

	全体（N数）	制定や見直しを行う	めざした法律・条例・制度の実現を積極的に登用する	女性を政策決定の場に積極的に登用する	各種団体の女性リーダーを養成する	職場における男女の均等な取扱について周知徹底を行う	女性の職業教育や職業訓練を充実する	保育・介護の施設やサービスを充実する	協力についての学習を充実する	学校教育や社会教育・生涯学習の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	交流の場、相談、教育などを充実する	女性の生き方に関する情報提供や啓発を行う	男性に対する意識啓発や研修を充実する	男女の平等と相互の理解や協力についてのPRを充実する	広報誌やパンフレットなどで、男女の平等と相互の理解や協力についてのPRを充実する	「三重県男女共同参画センター」の機能を	市町と協働する	防災・環境など新たな分野における取組を推進する	その他	特になし	わからない	不明・無回答
全体	2,558	25.7	24.9	16.0	18.6	13.0	40.2	19.5	13.8	5.7	5.9	4.8	5.1	4.6	1.1	3.6	12.5	7.5				
男性	1,150	29.5	28.8	17.0	20.3	10.8	34.9	20.6	12.1	5.4	7.0	4.1	5.2	5.2	1.1	4.7	10.6	6.4				
女性	1,385	22.5	21.7	15.2	17.1	14.9	44.8	18.9	15.2	6.0	5.1	5.3	5.0	4.1	1.1	2.6	14.4	7.9				
男性 / 20歳代	101	32.7	22.8	14.9	23.8	10.9	43.6	25.7	10.9	7.9	2.0	2.0	6.9	5.9	-	2.0	10.9	2.0				
30歳代	151	27.2	25.8	15.2	19.9	7.9	37.1	17.2	8.6	3.3	5.3	2.6	7.3	6.6	2.0	6.0	12.6	2.0				
40歳代	196	31.6	27.0	19.4	19.4	11.2	38.3	20.4	15.3	3.6	7.7	1.5	6.6	6.1	1.5	4.6	12.2	3.6				
50歳代	197	29.9	33.5	20.8	22.3	13.7	32.5	23.4	12.2	5.1	6.1	2.0	2.5	4.1	1.0	5.1	11.7	3.0				
60歳代	269	32.7	33.8	18.6	23.4	9.7	35.3	21.6	12.3	7.4	10.0	6.7	5.2	3.3	1.9	3.7	7.8	4.1				
70歳以上	221	24.0	25.8	11.3	14.5	10.4	28.1	17.6	11.3	5.4	7.2	7.2	4.1	6.8	-	5.9	10.0	19.5				
女性 / 20歳代	162	23.5	25.3	17.3	16.7	18.5	54.9	13.6	12.3	4.3	3.7	1.2	6.8	4.3	2.5	1.2	11.1	1.9				
30歳代	180	24.4	21.7	12.2	21.7	18.3	53.3	23.9	16.1	3.9	3.9	1.1	3.3	2.2	3.3	1.1	13.9	1.7				
40歳代	227	20.7	23.3	14.1	19.8	20.3	44.9	16.3	13.2	10.6	3.5	3.5	5.7	4.0	0.9	3.5	15.4	4.0				
50歳代	271	28.8	25.1	18.1	20.3	13.7	45.0	24.0	19.2	7.4	4.8	3.3	3.7	1.1	0.7	1.5	14.8	4.8				
60歳代	297	18.9	17.2	15.5	13.8	14.8	44.4	20.9	19.2	5.4	8.8	10.8	5.4	5.7	0.3	2.7	12.1	10.4				
70歳以上	216	16.7	19.0	14.4	11.6	7.9	31.9	12.5	9.7	3.2	4.6	9.3	5.1	7.4	-	4.6	17.1	22.2				
男性 / 就労している	753	30.0	29.3	19.1	21.8	10.2	36.9	21.9	12.0	5.4	7.2	2.7	5.6	5.0	1.5	4.6	10.5	2.8				
就労していない	315	30.8	31.1	14.6	19.0	13.3	31.4	19.0	14.0	5.7	7.0	7.3	5.1	5.1	0.6	3.8	10.8	10.8				
女性 / 就労している	739	24.4	21.4	15.2	16.9	15.3	48.0	19.9	15.2	6.5	4.6	4.7	4.5	3.4	1.5	2.2	13.4	4.9				
就労していない	561	21.6	22.3	16.2	18.7	14.4	43.0	18.0	14.6	5.9	5.9	6.2	5.5	5.0	0.7	3.0	16.6	8.2				
勤め人（フルタイム）	814	31.7	26.8	18.4	20.9	12.2	44.2	20.4	13.9	5.4	5.2	2.2	5.0	4.2	1.5	3.3	10.1	2.6				
パートタイマー・アルバイト	388	23.2	21.6	14.7	18.3	14.9	43.3	18.8	13.7	5.9	5.7	5.7	5.9	3.4	0.5	3.1	15.7	4.6				
農林水産業	97	20.6	29.9	20.6	12.4	13.4	35.1	20.6	11.3	8.2	6.2	4.1	2.1	4.1	1.0	6.2	13.4	6.2				
商工・サービス業	171	20.5	26.3	14.6	16.4	13.5	32.2	24.0	14.0	6.4	6.4	2.9	3.5	5.3	2.3	5.8	17.5	4.7				
自由業	47	27.7	29.8	12.8	21.3	10.6	25.5	8.5	10.6	4.3	10.6	12.8	-	8.5	4.3	8.5	10.6	8.5				
家事専業・家事手伝い	325	23.1	21.5	15.7	18.8	16.6	44.0	22.2	14.5	7.1	6.5	4.9	4.9	4.3	0.9	2.5	13.5	7.4				
学生	41	17.1	29.3	19.5	22.0	4.9	56.1	24.4	12.2	12.2	-	2.4	7.3	-	2.4	-	14.6	-				
無職	551	21.8	25.2	13.4	16.3	11.8	34.1	17.2	14.2	4.2	6.4	7.3	4.9	5.1	0.4	3.8	11.8	17.6				
その他	75	34.7	16.0	12.0	20.0	12.0	36.0	16.0	13.3	4.0	8.0	10.7	8.0	9.3	1.3	2.7	17.3	6.7				

(5)男女共同参画社会基本法の理念の実現状況についての評価(10 年前との比較)

問 38 . 男女共同参画社会を実現するための基本的な理念について、10 年前 (平成 11 年頃) と比較して、社会全体としての現状をどのように感じていますか。A ~ Dのそれぞれについて1つ選んで 印をつけてください。

問 38 男女共同参画社会基本法の理念の実現状況についての評価 (10 年前との比較)
A ~ Dの理念別比較 【全体】



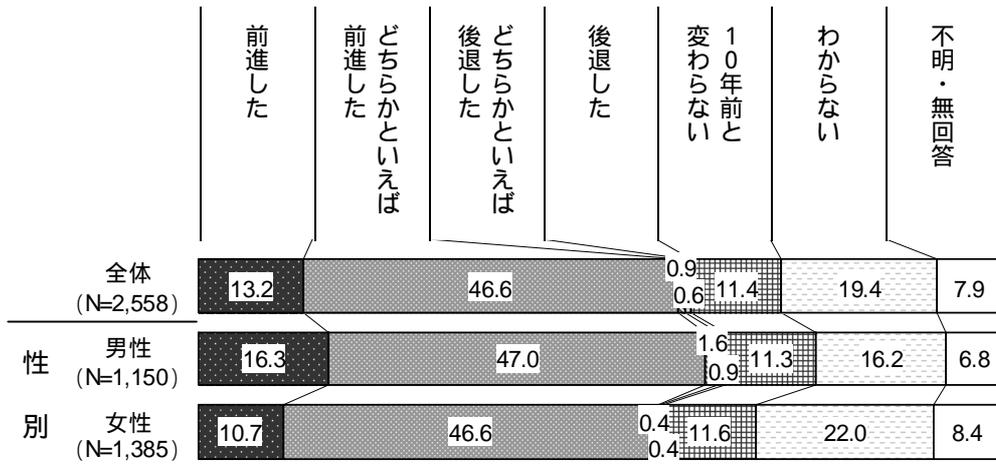
A ~ Dの項目を比較すると、『前進した』と答えた人の割合は「A 男女の人権の尊重」が59.8%と最も高くなっています。

一方、「10 年前と変わらない」と答えた人の割合は「D 家庭生活における活動と他の活動の両立」が18.8%と最も高くなっています。

『前進した』は、本来の選択肢の「前進した」と「どちらかといえば前進した」の割合を合計したものです。
『後退した』は、本来の選択肢の「後退した」と「どちらかといえば後退した」の割合を合計したものです。
以降のページも同様。

問 38 男女共同参画社会基本法の理念の実現状況についての評価（10年前との比較）

A 男女の人権の尊重 【全体 / 性別】



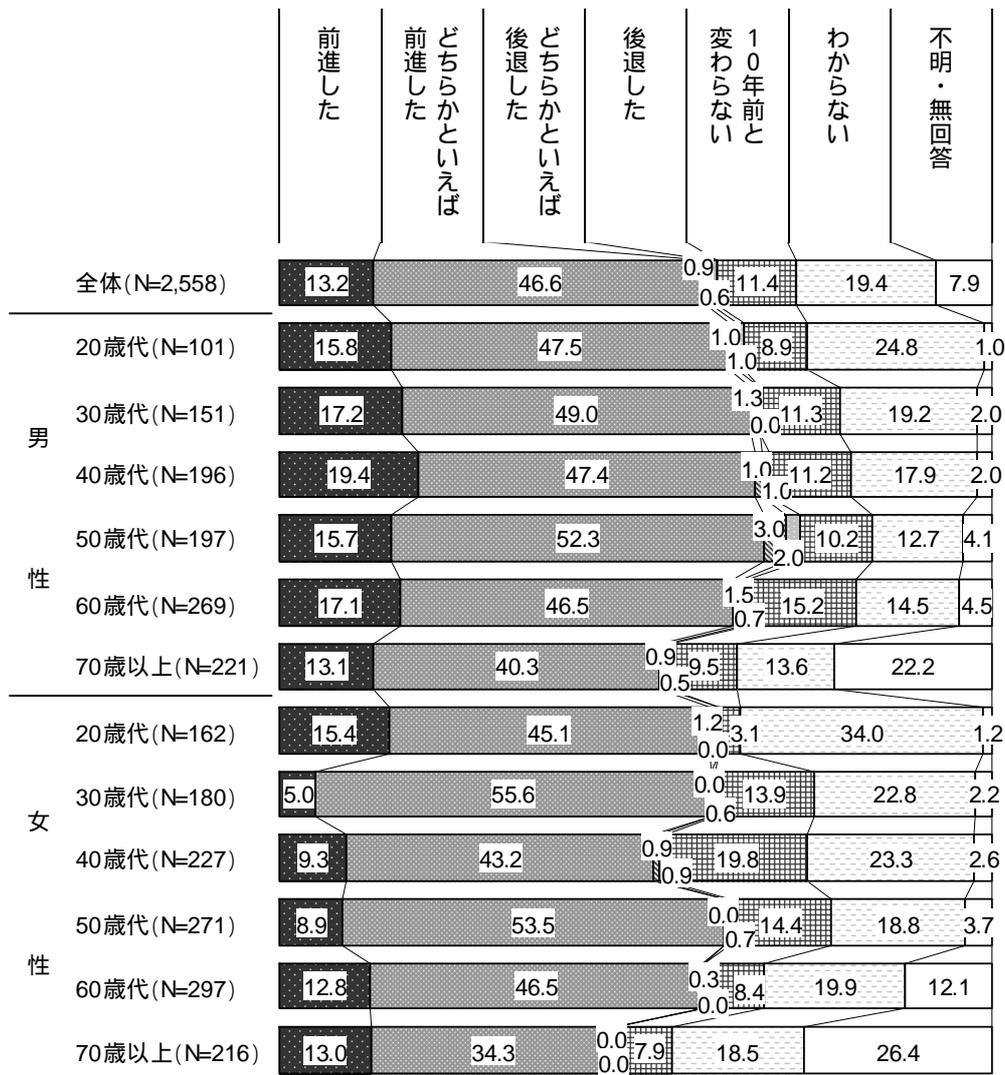
単位：%

全体では、『前進した』と答えた人の割合は59.8%と高くなっています。「10年前と変わらない」と答えた人の割合は11.4%となっています。

性別でみると、『前進した』と答えた人の割合は、男性（63.3%）が女性（57.3%）を上回っています。

問 38 男女共同参画社会基本法の理念の実現状況についての評価（10年前との比較）

A 男女の人権の尊重 【性別・年代別】



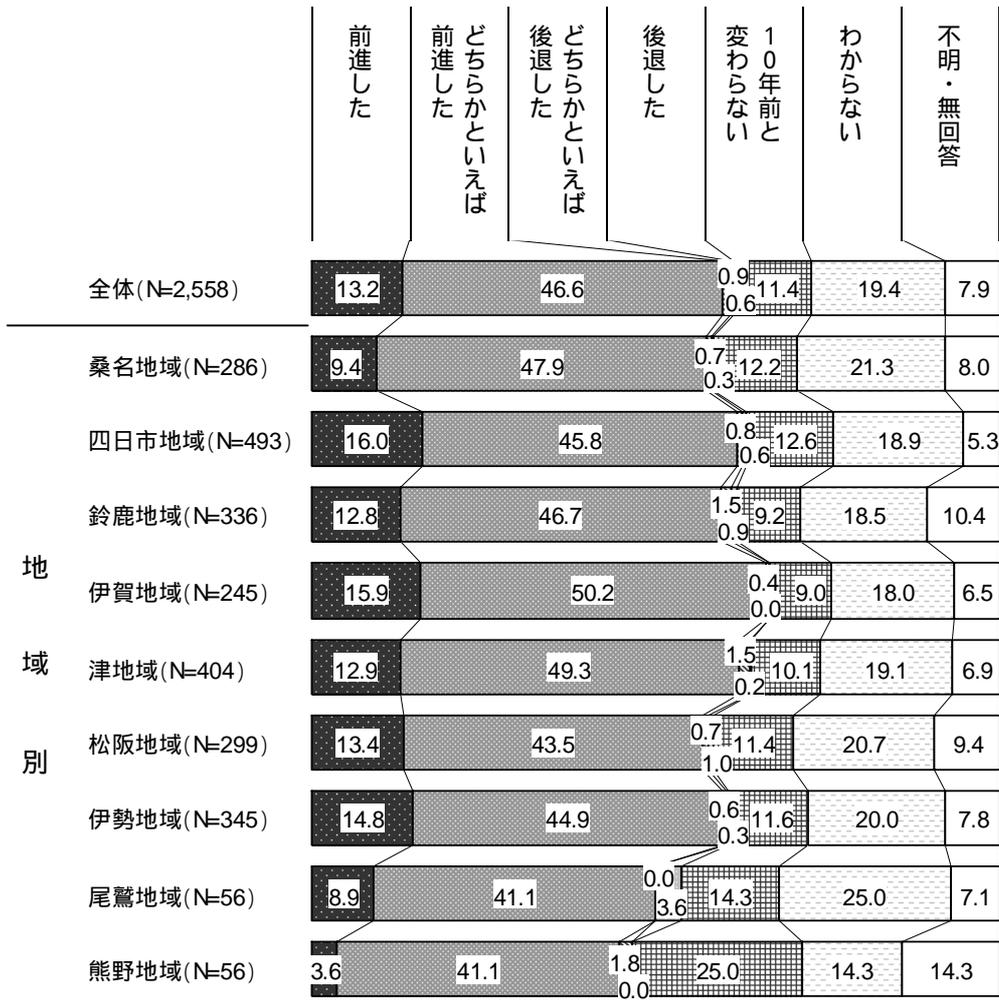
単位：%

性別・年代別でみると、『前進した』と答えた人の割合は、男性の30歳代から60歳代、女性の30歳代と50歳代が6割以上と高くなっています。

「10年前と変わらない」と答えた人の割合は、女性の40歳代（19.8%）が最も高くなっています。

問 38 男女共同参画社会基本法の理念の実現状況についての評価（10年前との比較）

A 男女の人権の尊重 【地域別】

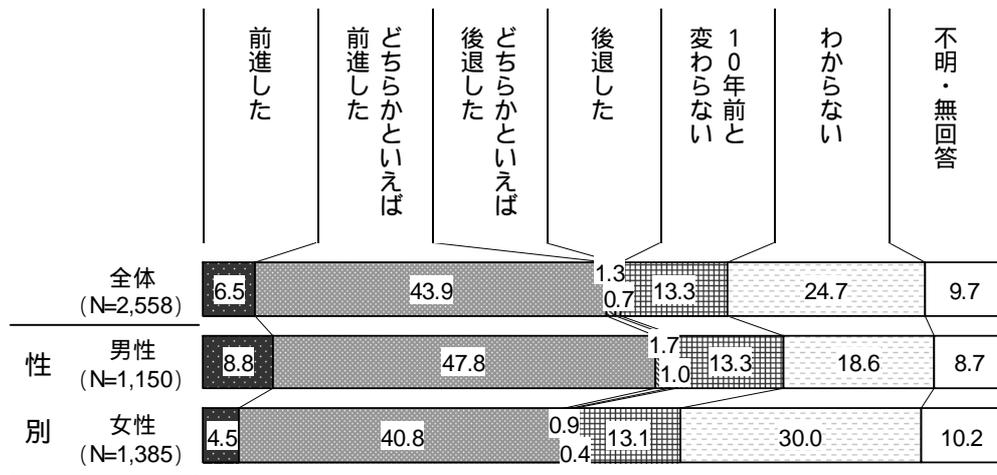


単位：%

地域別でみると、『前進した』と答えた人の割合は、伊賀地域（66.1%）が最も高くなっています。

問 38 男女共同参画社会基本法の理念の実現状況についての評価（10年前との比較）

B 社会における制度又は慣行についての配慮 【全体／性別】



単位：%

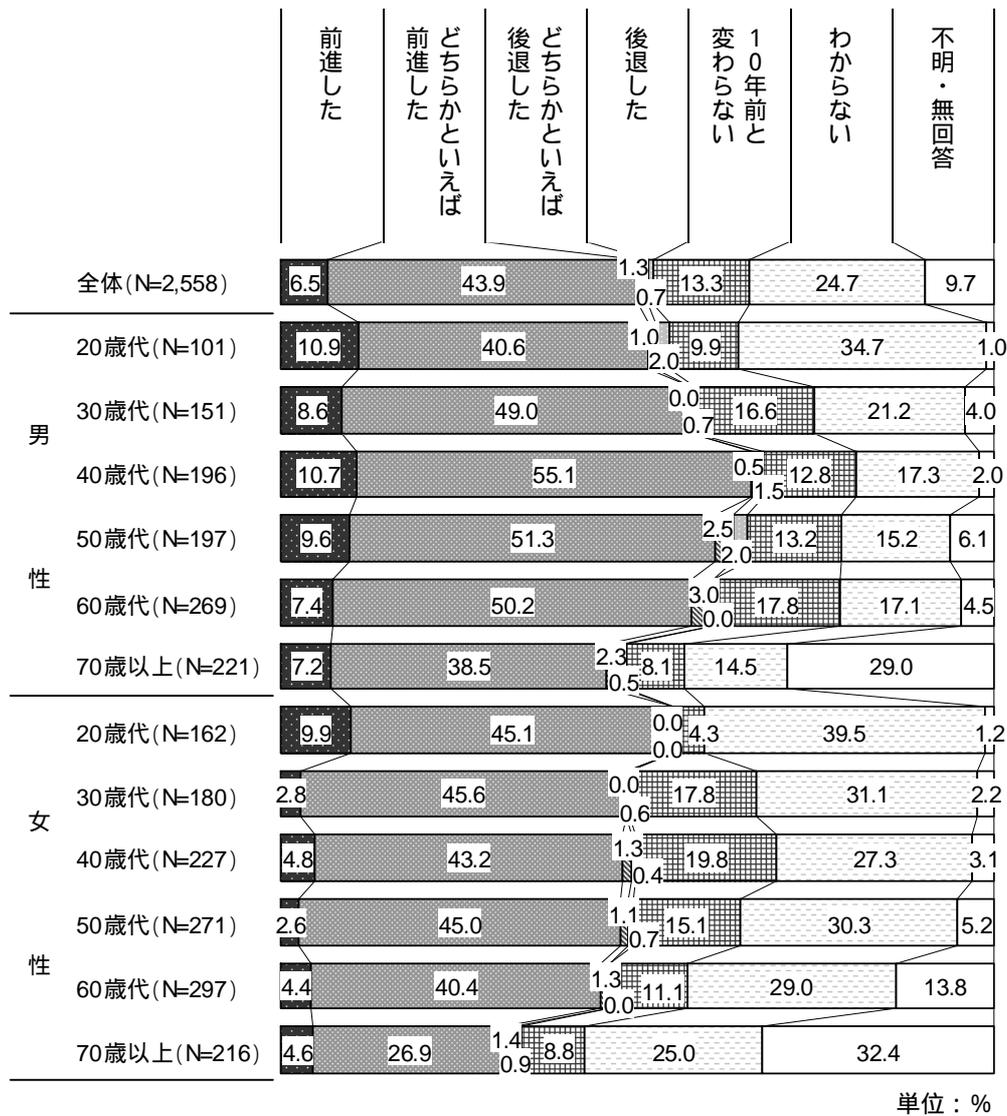
全体では、『前進した』と答えた人の割合は50.4%と高くなっています。「10年前と変わらない」と答えた人の割合は13.3%となっています。

性別でみると、『前進した』と答えた人の割合は、男性（56.6%）が女性（45.3%）を11.3ポイント上回っています。

「わからない」と答えた人の割合は、女性が30.0%と高くなっています。

問 38 男女共同参画社会基本法の理念の実現状況についての評価（10年前との比較）

B 社会における制度又は慣行についての配慮 【性別・年代別】

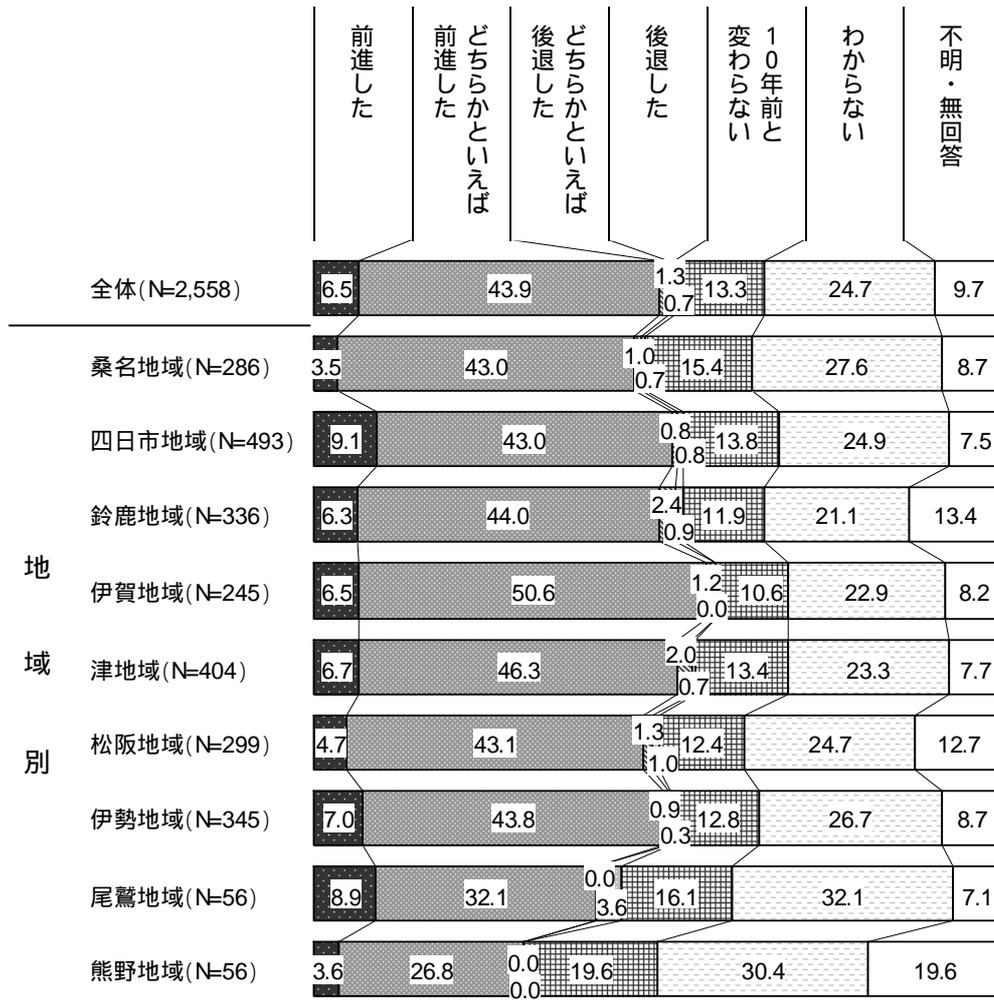


性別・年代別で見ると、『前進した』と答えた人の割合は、男性の40歳代（65.8%）、50歳代（60.9%）が6割以上と高くなっています。

「10年前と変わらない」と答えた人の割合は、女性の40歳代（19.8%）が最も高くなっています。

問 38 男女共同参画社会基本法の理念の実現状況についての評価（10年前との比較）

B 社会における制度又は慣行についての配慮 【地域別】

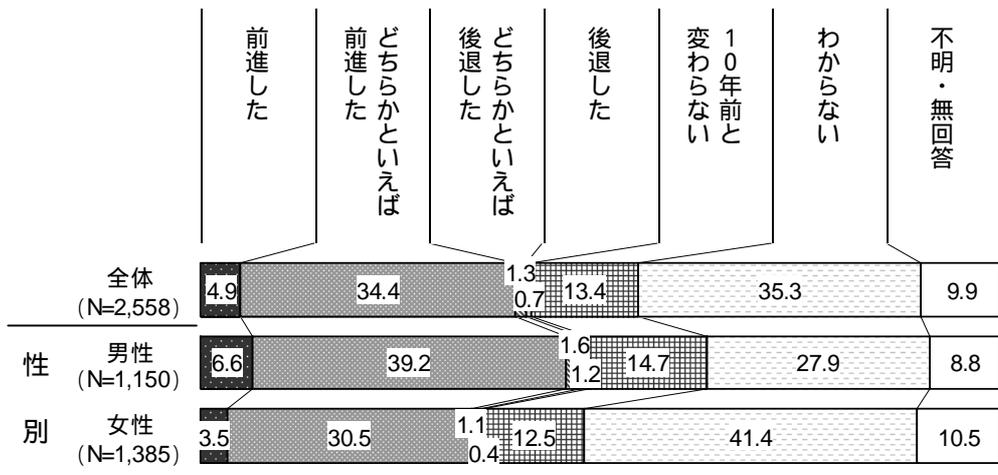


単位：%

地域別でみると、『前進した』と答えた人の割合は、伊賀地域（57.1%）、津地域（53.0%）、四日市地域（52.1%）、伊勢地域（50.8%）、鈴鹿地域（50.3%）が5割以上で高くなっています。

問 38 男女共同参画社会基本法の理念の実現状況についての評価（10年前との比較）

C 政策等の立案及び決定への共同参画 【全体 / 性別】



単位：%

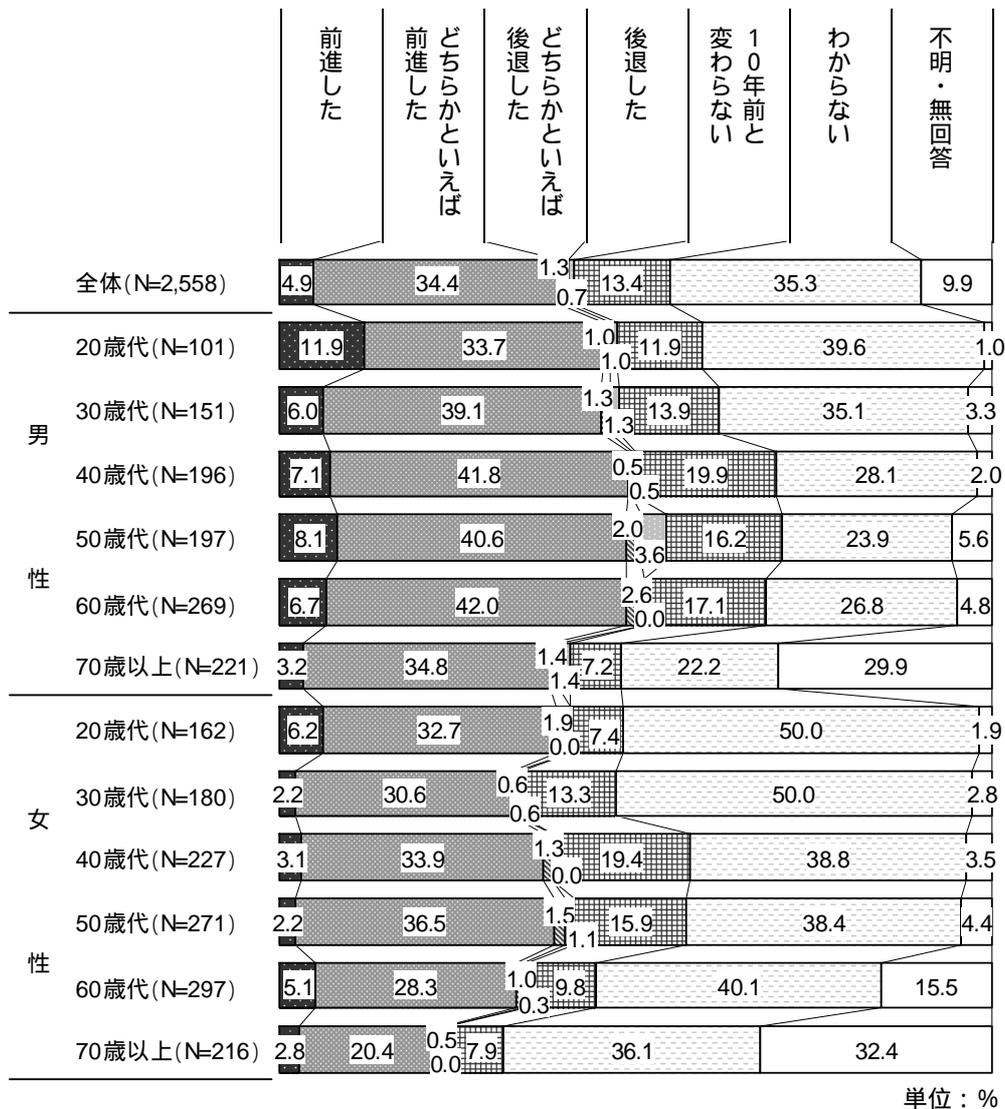
全体では、『前進した』と答えた人の割合は39.3%となっています。「わからない」と答えた人の割合は35.3%、「10年前と変わらない」と答えた人の割合は13.4%となっています。

性別でみると、『前進した』と答えた人の割合は、男性（45.8%）が女性（34.0%）を11.8ポイント上回っています。

「わからない」と答えた人の割合は、女性が41.4%と高くなっています。

問 38 男女共同参画社会基本法の理念の実現状況についての評価（10年前との比較）

C 政策等の立案及び決定への共同参画 【性別・年代別】



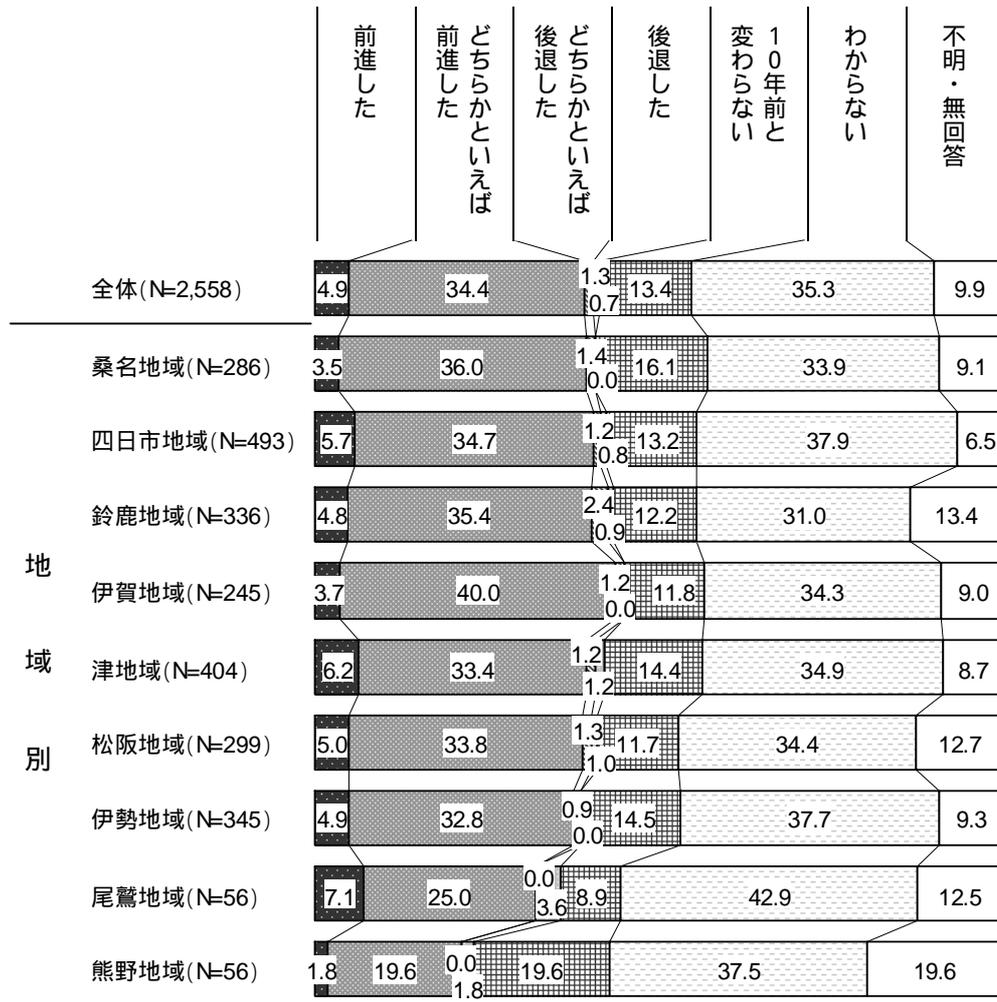
性別・年代別でみると、『前進した』と答えた人の割合は、男性の20歳代から60歳代が4割以上と高くなっています。

「10年前と変わらない」と答えた人の割合は、男性の40歳代（19.9%）が最も高くなっています。

また、「わからない」と答えた人の割合は、女性の20歳代と30歳代が50.0%と高くなっています。

問 38 男女共同参画社会基本法の理念の実現状況についての評価（10年前との比較）

C 政策等の立案及び決定への共同参画 【地域別】

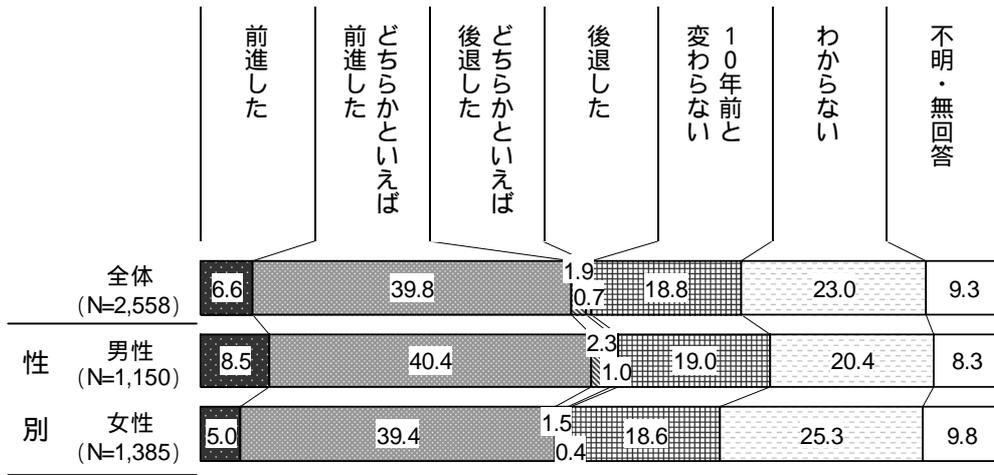


単位：%

地域別でみると、『前進した』と答えた人の割合は、伊賀地域(43.7%)、四日市地域(40.4%)、鈴鹿地域(40.2%)が4割以上と高くなっています。

問 38 男女共同参画社会基本法の理念の実現状況についての評価（10年前との比較）

D 家庭生活における活動と他の活動の両立 【全体 / 性別】



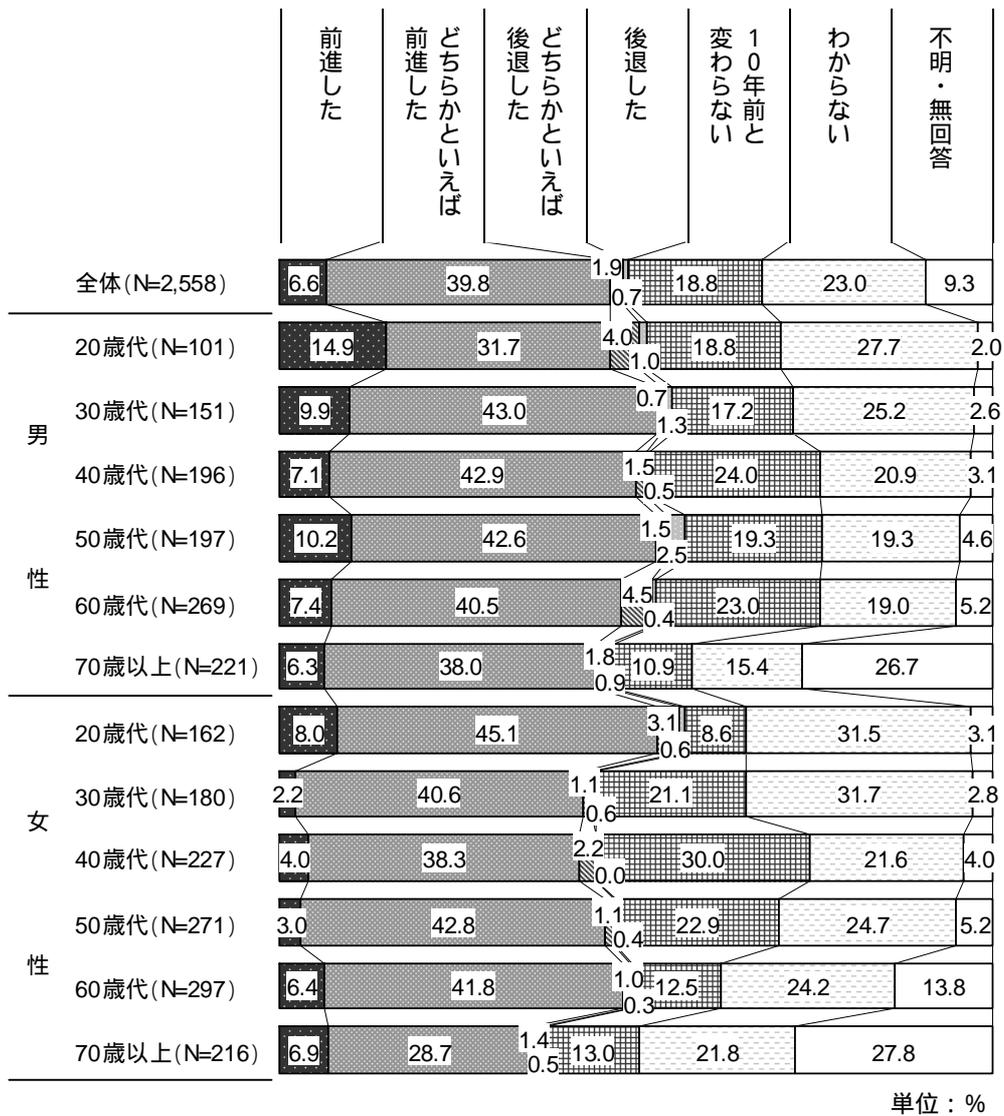
単位：%

全体では、『前進した』と答えた人の割合は46.4%となっています。「わからない」と答えた人の割合は23.0%、「10年前と変わらない」と答えた人の割合は18.8%となっています。

性別でみると、『前進した』と答えた人の割合は、男性（48.9%）が女性（44.4%）を上回っています。

問 38 男女共同参画社会基本法の理念の実現状況についての評価（10年前との比較）

D 家庭生活における活動と他の活動の両立 【性別・年代別】



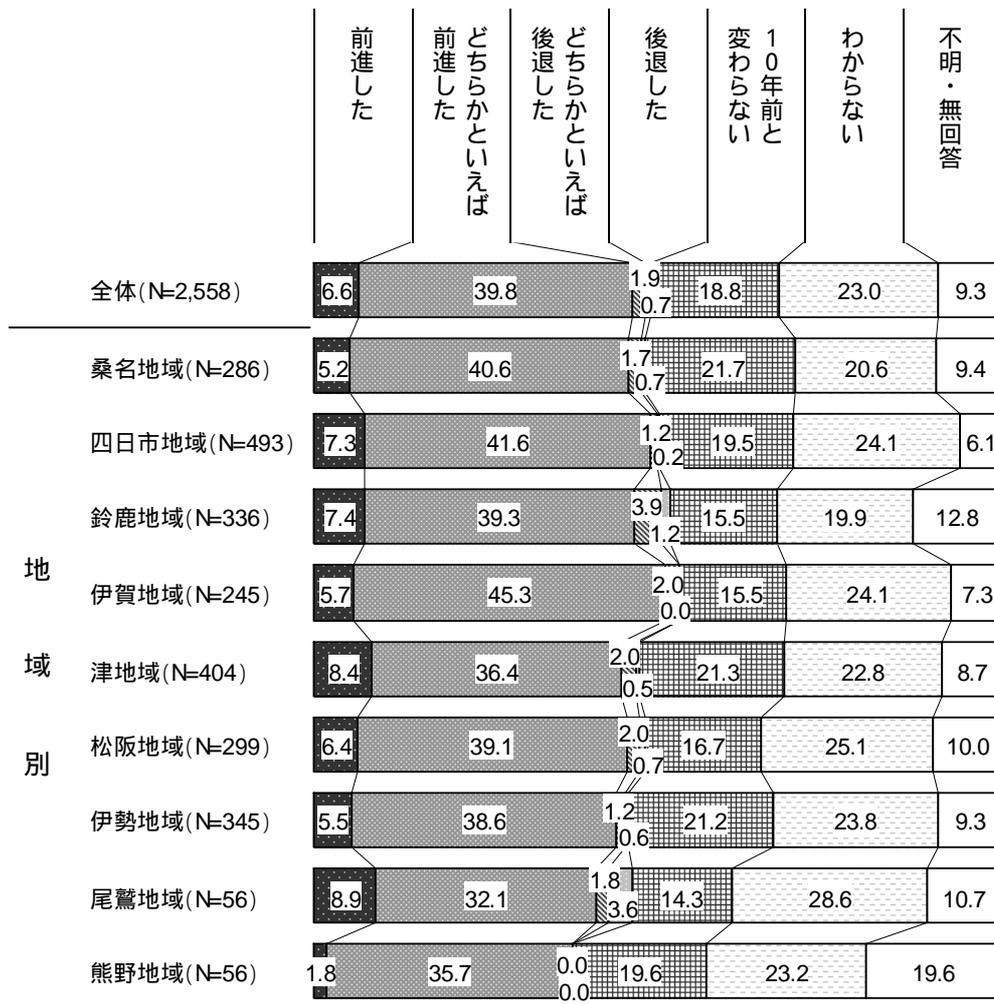
性別・年代別で見ると、『前進した』と答えた人の割合は、女性の20歳代（53.1%）、男性の30歳代（52.9%）、40歳代（50.0%）、50歳代（52.8%）が5割以上と高くなっています。

「10年前と変わらない」と答えた人の割合は、女性の40歳代（30.0%）が最も高くなっています。

また、「わからない」と答えた人の割合は、女性の20歳代（31.5%）、30歳代（31.7%）が高くなっています。

問 38 男女共同参画社会基本法の理念の実現状況についての評価（10年前との比較）

D 家庭生活における活動と他の活動の両立 【地域別】



単位：%

地域別でみると、『前進した』と答えた人の割合は、伊賀地域(51.0%)が5割以上で高くなっています。「10年前と変わらない」と答えた人の割合は、桑名地域(21.7%)、津地域(21.3%)、伊勢地域(21.2%)が高くなっています。